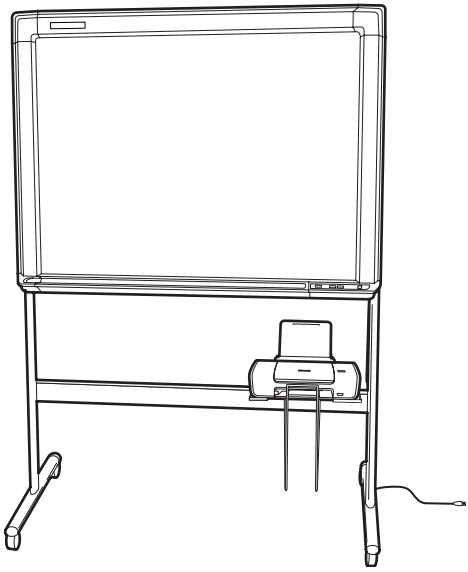
ニチガク 電子黒板
（4 色カラー印刷 /USB メモリ出力 /
LAN 出力 / 普通紙対応 / 映写スクリーン付）
プ ラ ン ・ テ ー ジ

PLAN:TAGE

LF-51S・LFW-51S・LF-52・LFW-52
LF-53S・LFW-53S・LF-54・LFW-54

取 扱 説 明 書



Nichigaku

はじめに

このたびは弊社製品をご購入いただきありがとうございました。この取扱説明書は、コピーボードを正しく使用していただくために取り扱い方法、使用上の注意等を説明したものです。
ご使用に際しましては、コピーボードの機能が充分発揮できますよう、この取扱説明書をお読みください。
ご使用前に「製品を安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。また、お読みになった後も、すぐ取り出せる場所に大切に保管してください。

概 説

コピーボードは日常会議等の効率化のために用いられる電子黒板で、白板上の手書き内容を容易に 4 色カラーの記録コピーとして取り出すことができ、又、映写もできる装置です。
ボード面に筆記したことを、紙へのコピーだけでなく、パソコンや USB メモリに記録が出来ます。
ホワイトシート面送りやコピーの開始などの操作は、ボード本体の操作パネルで行ないます。
尚、品番は次の通りで、以下この品番で表記します。

品　番	仕　様	
LF-52	2 面式	
LFW-52		ワイド
LF-54	4 面式	
LFW-54		ワイド
LF-51S	2 面式 （1 面映写スクリーン）	
LFW-51S		ワイド
LF-53S	4 面式 （1 面映写スクリーン）	
LFW-53S		ワイド

商標について

- Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
- Lexmark は、Lexmark International,Inc. の商標または登録商標です。
- パイロットホワイトボードマーカーみえみえ WBMVM-20L-G は、株式会社パイロットコーポレーションの商標または登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては、特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。その他、記載されてる商品名、会社名は各社の登録商標、または商標です。

製品を安全に正しくお使いいただくために

－ご使用の前に必ずお読みください－

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害と財産への損害を未然に防止するために、必ずお読みください。

⚠ 警告	人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⃠記号は禁止の行為であることを示しています。図の中に具体的な禁止内容（左図は分解禁止）を示しています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図は電源プラグをコンセントから抜く）を示しています。

注意事項

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

■設置場所について

⚠警告

●湿度の高い場所への設置禁止

ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠注意

●火気のそばへの設置禁止

本機や電源コードを熱器具等の発熱する物に近づけないでください。カバーや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●温度の高い場所への設置禁止

直射日光の当たるところや、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

●油飛びや湯気が当たるような場所への設置禁止

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●不安定な場所への設置禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

●キャスター止めの注意

本機にキャスター（車輪）が付いているときはキャスターのストッパーをロックしてください。動いたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

■使用について
（1）もしもこんなときは

⚠警告

●発煙の対処

万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグを抜き、煙が出なくなるのを確認して保守サービス店へご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

●破損時の対処

万一、本機を落としたり、倒したりした場合は、すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて保守サービス店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●水が装置内部に入った場合の対処

万一、内部に水が入った場合は、すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて保守サービス店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●異物が装置内部に入った場合の対処

本機の隙間などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本機の電源スイッチを切り、その後必ず差込みプラグを抜いて、保守サービス店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●電源コードが傷んだ場合の対処

電源コードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、保守サービス店へご連絡ください。

（2）電源について

⚠警告

● AC100V 電源（一般電源）以外の禁止

AC100V（50/60Hz）の電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。また、やむを得ず同じ電源コンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を越えないように注意してください。

●電源コードの取扱注意

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

●ぬれた手での操作の禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

●たこあし配線の禁止

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、たこあし配線はしないでください。火災・感電の原因となります。

⚠注意

●プラグの取扱注意

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●電源を切る時の注意

プリンタを動作させた場合、終了後 1 分間以上待ってから、電源を切ってください。

●アース線接続の注意

湿気の多い場所で使用する場合はアース接続してください。アース線が取り付けられるところは次の部分です。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片など 65cm 以上、地中に埋めたもの
- 接地工事（第 3 種）が行われている接地端子

次のようなところには絶対にアース線を取り付けないでください。

- ガス管、電話専用アース線、避雷針、水道管や蛇口

（3）禁止事項について

⚠警告

●他のプリンタの接続禁止

ホワイトシートに筆記されたものは本機に装備されたプリンタでのみコピーできます。他のプリンタを接続すると故障の原因となります。

●パソコンとの接続禁止

本体のプリンタにパソコン等を接続してプリントをしないでください。故障の原因となります。

●改造の禁止

本機を改造しないでください。火災・感電・けがの原因となります。

●分解の禁止

本機のカバー（キャビネット等）は外さないでください。感電の原因となります。

●ぬらすことの禁止

本機に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。

⚠注意

●乗ること等の禁止

本機に乗ったり、こしかけたり、すわったり、寄りかかったりしないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれてけがの原因となることがあります。

●ホワイトシート移動中の禁止

移動中のホワイトシートには触れないでください。手や指が巻き込まれて、けがの原因となることがあります。

（4）その他のご注意

⚠警告

●異物を入れないための注意

本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼしたり、中に入った場合は火災・感電の原因となります。

⚠注意

●雷のときの注意

雷が鳴りだしたら、電源コードに触れないでください。落雷による感電の原因となります。

●電源プラグの清掃

電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に 1 回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。

●長期不在のときの注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

●印刷中の注意

印刷中はプリンタの中に手を入れないでください。内部で部品が動いているため、けがの原因になることがあります。

●インクカートリッジについて

カートリッジを落したり振ったりしないでください。インクが漏れて周囲や衣服を汚すことがあります。

目 次

製品を安全に正しくお使いいただくために …… 1
1 基本的な使い方 …… 7
2 取り扱い上の注意 …… 8
3 ボード全体・各部の名称と機能 …… 11
4 操作方法 …… 14
▶プリンタでコピーするには …… 14
▶ USB メモリに保存するには …… 16
▶ LAN 接続されたパソコンに保存するには …… 17
▶ホワイトシート、映写スクリーンの移動 …… 18
▶映写スクリーンの使い方 …… 18
5 用紙をセットする …… 19
6 使用できる用紙 …… 20
7 インクカートリッジを交換する …… 21
8 プリンタのお手入れ …… 23
▶インクカートリッジのノズルと接触面の清掃 …… 23
▶インクカートリッジ取り扱い上の注意 …… 24
▶インクカートリッジの購入方法 …… 24
▶ローラーの清掃 …… 24
9 エラー表示 …… 25
10 こんなときには…（故障診断） …… 28
11 組立手順 …… 30
12 ホワイトシート保護紙について …… 35
13 日時設定 …… 38
14 LAN 接続の設定 …… 41
▶新規アカウント作成 …… 42
▶保存用共有フォルダの設定 …… 46
▶ネットワーク設定変更 …… 53
▶プランテージの設定 …… 60
15 LAN 保存先について …… 70
16 アフターサービス …… 72
17 仕 様 …… 73
18 添付品・消耗品・オプション品 …… 74

1 基本的な使い方

初期設定

▶ LAN を使うお客さまは ····· P7

基本的な使い方

▶ プリンタでコピーするには ····· P7

▶ USB メモリに保存するには ····· P7

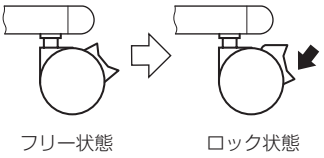
▶ LAN 接続されたパソコンに保存するには ···· P7

▶ ホワイトシート、映写スクリーンの移動 ····· P18

▶ 映写スクリーンの使い方 ····· P18

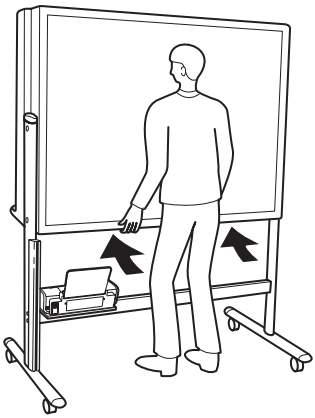
2 取り扱い上の注意

設置場所について



- 直接日光の当たるところやストーブの近くなどには置かないでください。
- エアコンやクーラーの風が直接当たるところには置かないでください。
- 設置完了時には、キャスターのストッパーをロック状態にしてください。
- 振動のない、水平な床に置いてください。

移動の際には



- キャスター（右前、左後）のストッパーをフリー状態にしてください。
- 電源コードを固定してください。
- プリンタが落下しないよう注意して、できるだけ振動させずに移動してください。
- 持ち上げる場合はボード本体部を持つようにし、トレー部（8 ページを参照）は持たないようにしてください。

筆記上の注意

- 推奨マーカーは、消耗品（74 ページ）を参照してください。それ以外のマーカーを使用しますと、正常にコピーがとれない場合があります。
- サインペン、ボールペン、油性マーカー等で書きますと消せなくなりますので、絶対に使用しないでください。
- ホワイトシートに、テープやピンで紙を貼ったり、鋭利なものでたたいたりしないでください。
- ホワイトシートが動いているときに消したり、手で押さえたりしないでください。
- 資料を貼り付けて、コピーする場合には、オプションのキャリアシートを使用して行なってください。1 面に 1 枚で最高 2 面迄お使いになれます。（4 面式ワイドタイプ LFW-54・LFW-53S にはご使用いただけません）

映写スクリーン使用上の注意

映写効果を上げるため、映写スクリーン面に特殊な加工が施されています。汚れや傷がつきますと映写効果を損うことがありますので、次の点に注意の上、ていねいにお取り扱いください。

- 汚れが目立ちやすいので、映写スクリーン面には手を触れないでください。
- 映写スクリーン面にホワイトボード用マーカー、及びサインペン、ボールペン、油性マーカー等で書きますと消せなくなりますので、絶対に使用しないでください。
- 固いものでこすったり、ひっかいたりしないでください。破損の原因となります。
- テープ、キャリアシート（フォーマットシート）の使用はしないでください。

印刷用紙について

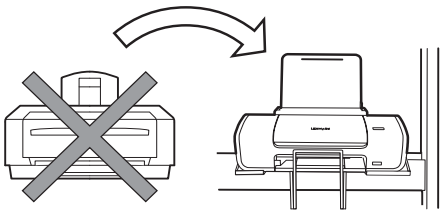
- 普通紙・A4 サイズの用紙を使用してください。
- 用紙は、高温、高湿の場所、及び直射日光を受ける場所は、避けて保存してください。
- 用紙の詳しい取り扱いは、使用できる用紙（20 ページ）を参照してください。

電源について

- 電源はＡＣ 100 Ｖ、３Ａ以上のコンセントで使用してください。
- 電源コードは、踏みつけたり、折りまげたりしないでください。
- プリンタ出力中、及び、ホワイトシート移動中は、電源を切らないでください。故障の原因となります。処理終了後に、電源を切ってください。
- お使いにならない時は、節電と機能保全のため電源を切ってください。

プリンタの接続について

- 本機は付属プリンタにあわせて設計されています。他のプリンタを接続しても印刷できません。
- 付属プリンタをパソコン等に接続してプリントした結果につきましては、保証致しかねます。



日常のお手入れ

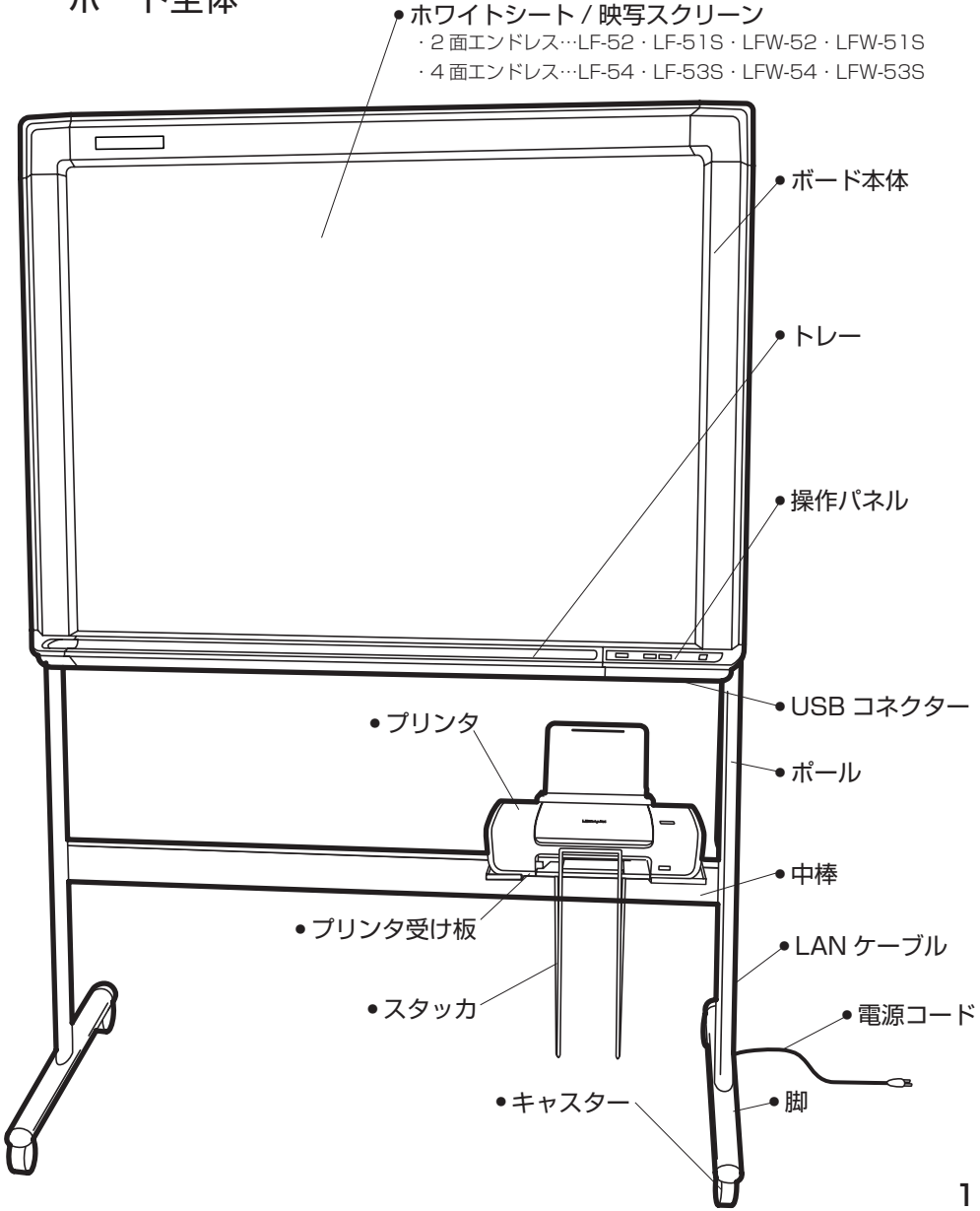
- いつも最良の状態で使用できるように、常に心がけてください。
- ホワイトシートは、細かなホコリや消しかすが付きやすいので、イレーザーで取りきれない場合は、やわらかな布を水に浸し堅く絞ってから汚れを拭きとってください。
- マーカーの跡が残ってしまいイレーザー（黒板消し）や乾いた布では落ちない場合は、アルコールをふくませた布で拭いてください。シンナー類は使用しないでください。
- イレーザー（黒板消し）は、マーカーの消しかすが付着しますので、軽くたたいて消しかすを落としてください。
- トレーにホコリや消しかすが溜った場合は、水に浸した布を堅く絞ってから拭き取ってください。
- 本体、操作パネル部が汚れた場合は、水または中性洗剤に浸した布を堅く絞ってから拭きとってください。

映写スクリーンのお手入れ方法

- ボードや粉受けのマーカーの粉、ホコリ等は映写シートを汚す原因となりますので、こまめに掃除してください。
- 映写スクリーン面に付着したマーカーの粉やホコリ等は柔らかいブラシで払ってください。マーカーの粉は乾いた布で拭きますとシート面を汚しますので絶対におやめください。
- ベンジン、シンナー等薬品類は絶対に使用しないでください。
- もし、ホワイトボード用マーカーで誤って書いてしまった場合は、10 倍以上にうすめた中性洗剤で拭き落とした後、洗剤が残らないよう、堅く絞った濡れた布で拭き取ってください。さらに乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。

3 ボード全体・各部の名称と機能

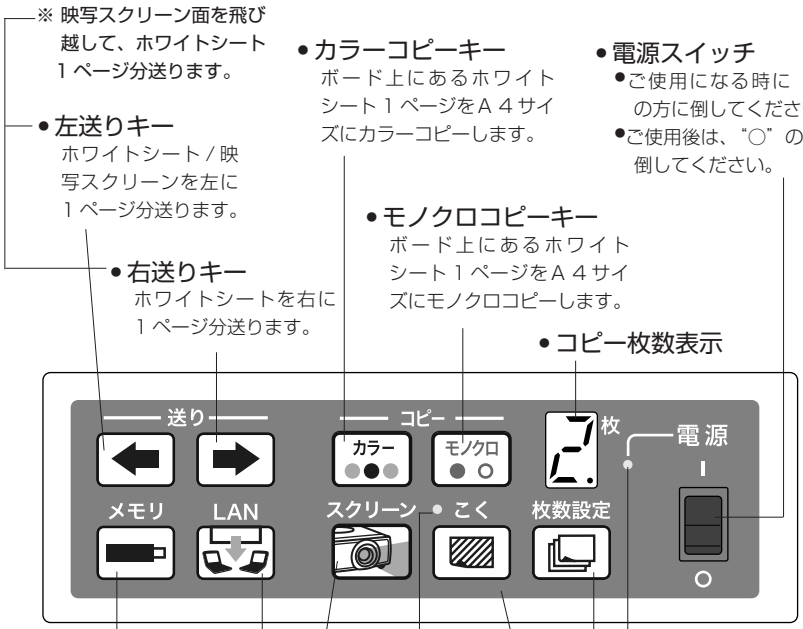
ボード全体



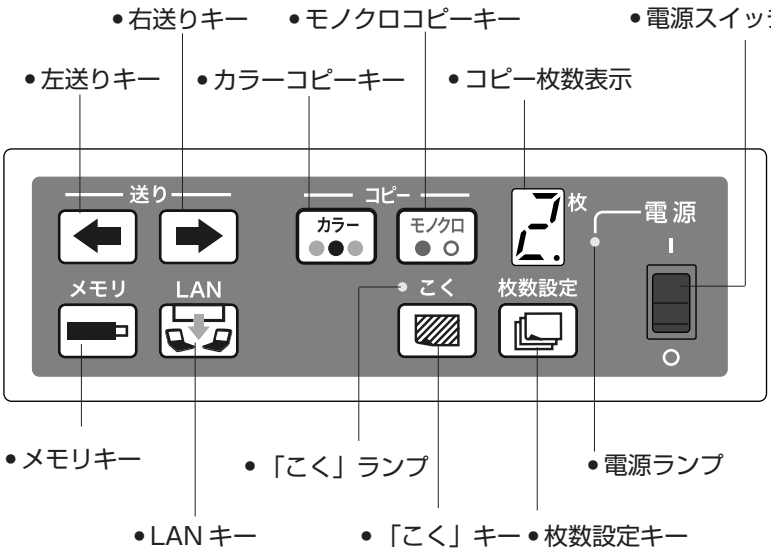
操作パネル

コピー枚数表示の点滅については、エラー表示（25 ページ）を参照してください。

LF-51S・LF-53S・LFW-51S・LFW-53S



LF-52・LF-54・LFW-52・LFW-54



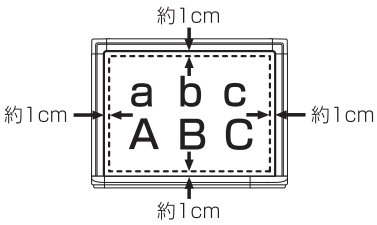
4 操作方法

1 本体電源を入れます

- 電源コードをＡＣ 100 Ｖコンセントに挿入し、電源スイッチを「｜」の方に倒してください。緑色の電源ランプが点灯します。
- 電源を入れると自動的にページ合わせを行ないます。次に 1 が表示されて、待機状態になります。
- 蛍光灯は電源を入れて点灯後、どのキーも操作しない場合は 1 時間後に自動的に消灯します。どのキーでも操作する毎に、その後 1 時間点灯します。
- 電源投入から 10 秒間は、コピーできません。また、室内が低温のとき、電源投入直後及び操作してから 1 時間以上経過したときはコピー濃度が安定しない場合がありますので約 3 分間お待ちください。

2 筆記します

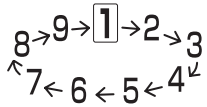
- 推奨マーカーを使用してホワイトシートに筆記します。
- 外枠から上下左右約 1cm までは、コピーがとれません（点線の外側）。



▶プリンタでコピーするには

1 枚数設定のしかた

- 必要枚数分の回数だけ枚数設定キーを押し、枚数を表示させ、コピーキーを押すと、コピーが開始されます。
- コピーは 9 枚まで可能です。カウンターの表示は 1 → 9 と順に表示し、次に 1 にもどります。



2 コピー濃度設定

- 「こく」キーを押すと緑色のランプが点灯し薄い文字でも濃くコピーできます。
- 「こく」キーをもう一度押すと緑色のランプが消え、標準濃度に戻ります。

※「こく」に設定した場合、コピーの白い部分に黒いはん点が出ることがあります。

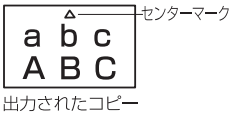
※ 電源を切ると、設定したコピー濃度は、「標準」の状態に戻ります。

3 コピーをとります

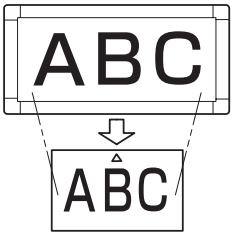
- 用紙をセット（19 ページ）します。
- カラーコピーキーを押すとホワイトシートの見えている部分をＡ４サイズに４色コピーします。
- モノクロコピーキーを押すとホワイトシートの見えている部分をＡ４サイズにモノクロコピーします。

※ 映写スクリーンが出ている時は、作動しません。

- 出力されたコピーには、センターマークが印字されます。ファイリング用穴あけ中心位置などの目安にご利用ください。



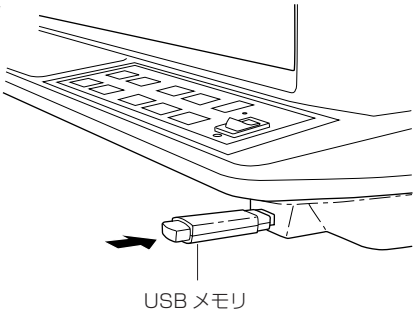
- ワイドタイプの場合は横方向に圧縮されてＡ４サイズにコピーします。



▶ USB メモリに保存するには

1 USB メモリを取り付けます

● 操作パネルの下部にある USB コネクタに USB メモリを取り付けます。



2 保存します

● メモリキーを押すとホワイトシートの見えている部分を保存します。

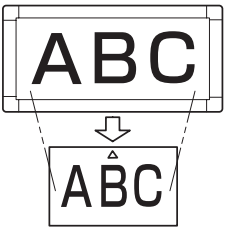
※ 映写スクリーンが出ている時は、作動しません。

● コピー中は枚数表示が回転し、保存中であることをお知らせします。

※ 回転表示中（保存中）は USB メモリを絶対に取り外さないでください。

● 回転表示が終わった時点で保存は完了し、USB メモリを取り外すことができます。

● ワイドタイプの場合は、横方向に圧縮されて保存されます。



▶ LAN 接続されたパソコンに保存するには

1 記録先を選択します

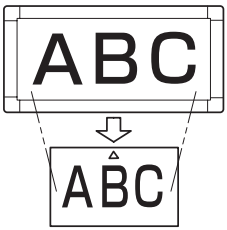
- 枚数表示を１～９に変更することで、記録先として事前に設定した最大９つのフォルダを使い分けることができます。
- 枚数設定キーを押し、ご希望の記録先を選択してください。（詳細は 15 LAN 保存先について (70 ページ）をご参照ください）

2 保存します

- LAN キーを押すとホワイトシートの見えている部分を保存します。

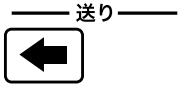
※ 映写スクリーンが出ている時は、作動しません。

- コピー中は枚数表示が回転し、保存中であることをお知らせします。
- 回転表示が終わった時点で保存は完了します。
- ワイドタイプの場合は、横方向に圧縮されて保存されます。



▶ホワイトシート、映写スクリーンの移動

● コピーしないで、ホワイトシート / 映写スクリーンだけ移動します。



● 左送り

■ 1 ページだけ左に移動します。

■ 映写スクリーンを飛び越して左に 1 ページ移動します。

● 右送り

■ 1 ページだけ右に移動します。

■ 映写スクリーンを飛び越して右に 1 ページ移動します。

■ 左送り実行中に右送りキーを押しますと、いったん停止後、すぐに右送りを開始します。その逆も可能です。

● スクリーン

■ どのページからも映写スクリーン面が出せます。

● 手送りで移動できます。手で左右どちらの方向にも移動できますが、急速な移動は故障の原因になりますのでしないでください。

▶映写スクリーンの使い方

● 映写スクリーン付はスクリーンキーを押して映写スクリーン面を出してください。

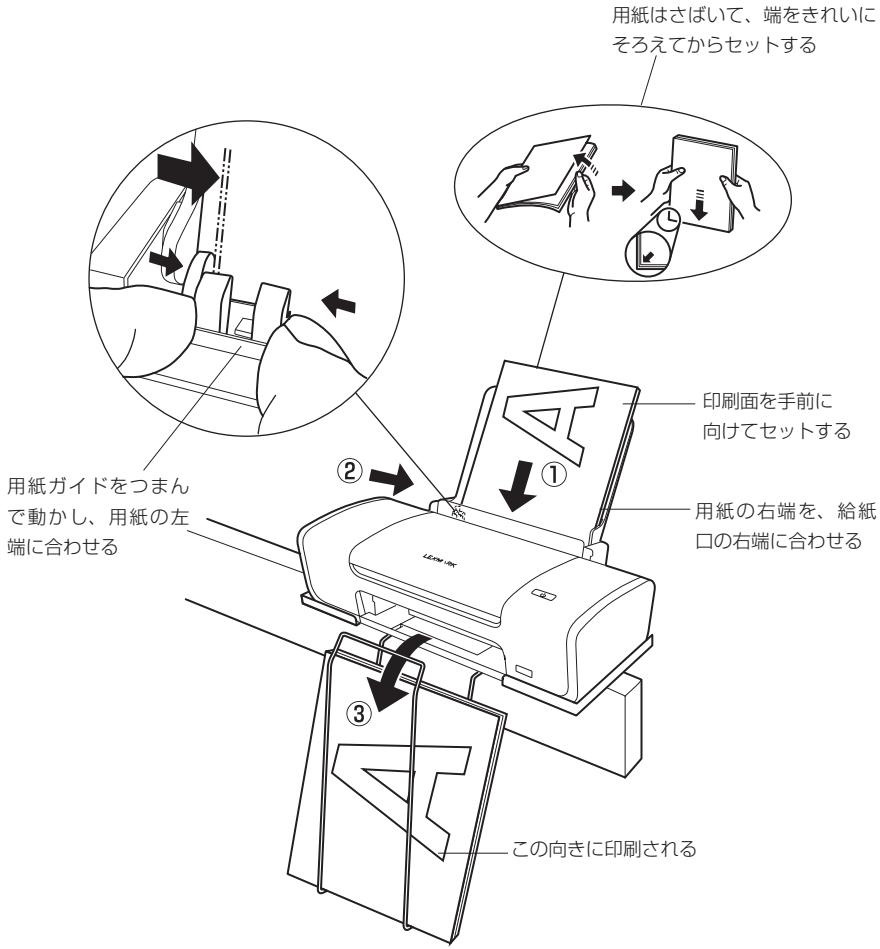
※ 左上部に注意シールの貼ってある面が映写スクリーン面です。

● プロジェクターや OHP などを使ったプレゼンテーションにご使用ください。

● 映写スクリーン面にホコリなどが付着するのを防ぐため、終りましたら送りキーを押してホワイトシート面を出してください。

5 用紙をセットする

A4 サイズ普通紙のセット方法



注意

- 給紙口に用紙を無理に押し込まないようにしてください。
- 印刷が終了した用紙について
  用紙がスタッカに 20 枚程度たまったら取り除くようにしてください。
  インクが乾くまで印刷面にはさわらないようにしてください。

6 使用できる用紙

■ 用紙についてのご注意

以下の用紙は使用しないでください。
きれいに印刷できないだけでなく、紙づまりや故障の原因になります。

- 折れている用紙
- カールしている用紙
- しわがついている用紙
- 濡れている用紙
- 薄すぎる用紙（重さ 64g/ ㎡未満：トレーシングペーパー等）
- 厚すぎる用紙（重さ 105g/ ㎡を超えるもの：画用紙等）

■ 一般的な用紙

複写機などで使用される一般的な A4 サイズのコピー用紙（重さ 64 ～ 105g/ ㎡）を使用します。

参考

用紙の重さについて
給紙口から給紙できる用紙の重さは 105g/ ㎡以下です。重さが 105g/ ㎡を超える紙は、紙づまりなどの原因になりますので使用しないでください。

■ 用紙を保管するときは

使わなかった用紙は入っていた袋に入れ、直射日光の当たる場所や高温多湿な場所をさけて保管してください。曲がったり、しわがつかないよう水平に置いてください。

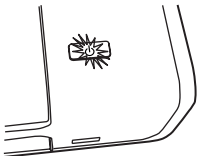
■ 用紙を持つときは

用紙はできるだけ端を持ち、印刷面に触れないようにしてください。
印刷面に傷がついたり汚れがつくと、印刷の品質が低下することがあります。

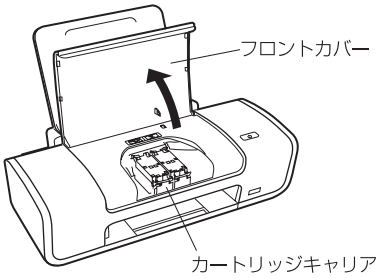
7 インクカートリッジを交換する

インクカートリッジのインクがなくなった場合は、以下の手順で新しいインクカートリッジに交換してください。

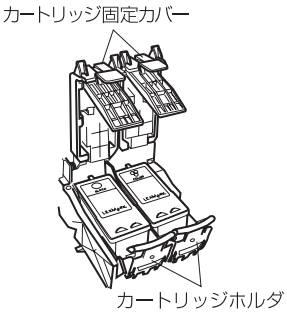
1 プリンタの電源を入れてください。



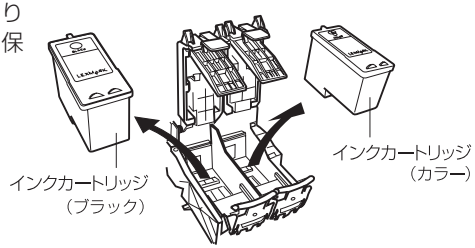
2 プリンタが印刷中でないことを確認して、フロントカバーを開いてください。カートリッジキャリアが取り付け位置まで移動します。



3 左側（ブラック）、右側（カラー）のカートリッジホルダ手前のロックレバーを押し、カートリッジ固定カバーを開いてください。

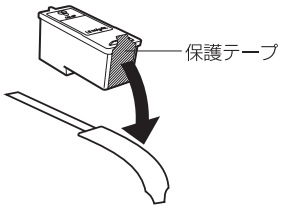


4 取り付けられているインクカートリッジを取り外してください。取り外したカートリッジは密閉容器に保管するか、処分します。



5

新しいインクカートリッジをパッケージから取り出し、プリントヘッドの保護テープを取り除いてください。

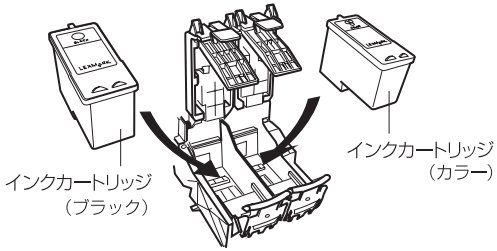


注意

テープをはがしていない場合は、印字されません。必ず取り除いてください。その際、金属の接触面に手を触れたり、金属部分をはがしたりしないでください。

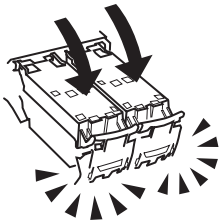
6

インクカートリッジをカートリッジホルダにセットしてください。



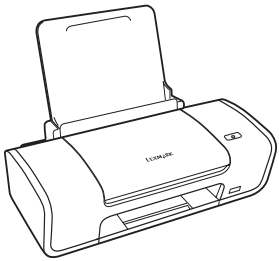
7

固定カバーを倒して「カチッ」と音がするまで押してください。



8

フロントカバーを閉じてください。



8 プリンタのお手入れ

※ 詳しい使い方はお使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

▶インクカートリッジのノズルと接触面の清掃

印刷がかすれたり、白いすじが入った場合は、インクカートリッジのノズルと接触面に付着したインクを湿ったきれいな布で拭き取ります。

① プリンタからインクカートリッジを取り外してください。

② 清潔な布をぬるま湯で湿らせて、ノズルと接触面をそれぞれ、布のきれいな箇所で一方向に拭いてください。

こびりついたインクを溶かすには、湿った布をノズルまたは接触面に 3 秒間ほど押しあてたあと、そっと拭き取るようにします。

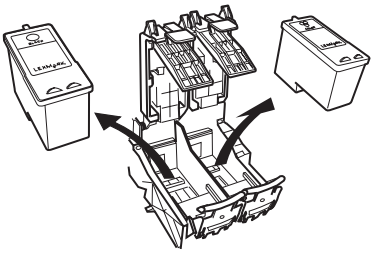
③ 拭いた部分が乾燥するのを待ちます。

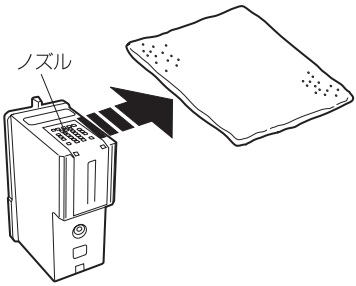
④ インクカートリッジをプリンタに取り付けてください。

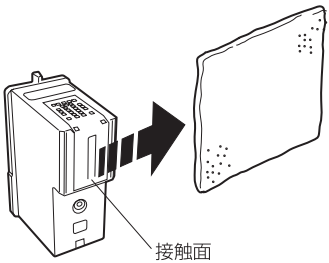
⑤ ドキュメントをもう一度印刷してみます。

⑥ 印刷結果が改善されない場合は、ノズル清掃をあと 2 回繰り返してください。

⑦ 印刷品質が改善されない場合は、新しいインクカートリッジに交換してください。







▶インクカートリッジ取り扱い上の注意

インクカートリッジをできるだけ長く使用し、プリンタの性能を引き出すために以下の点に注意してください。

- インクカートリッジは取り付け準備ができるまでパッケージから取り出さないでください。
- インクカートリッジは交換や清掃する場合を除き、プリンタから取り外さないでください。インクが乾燥しノズルがつまることがあります。

インクを補充したインクカートリッジを使用したために発生したプリンタの不具合および損傷の修理には、プリンタに関する保証が適用されません。

最良の印刷結果を得るには、Lexmark ブランドのインクカートリッジを使用してください。Lexmark ブランド以外のインクカートリッジを使用して発生したトラブル、故障については、責任を負いかねますのでご了承ください。

▶インクカートリッジの購入方法

インクカートリッジはパソコンショップ又は家電量販店等にてお買い求めください。また Lexmark のコールセンターおよびホームページ（http://www.lexmark.co.jp/）で注文することもできます。右表の商品コードでご注文ください。

種類	商品コード
ブラック	標準タイプ１４
カラー	標準タイプ１５

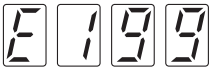
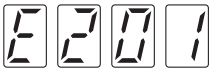
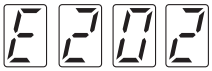
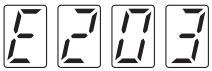
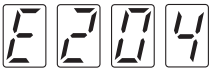
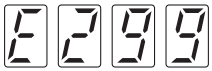
▶ローラーの清掃

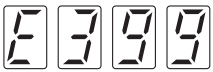
用紙が正しく送り込まれない場合は、ローラーの清掃をしてください。

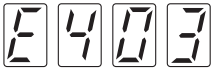
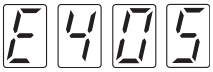
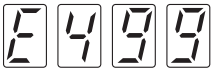
① 市販のクリーニングシートを準備します。
② プリンタの電源が入っていることを確認します。
③ クリーニングシートの保護紙をはがします。
④ クリーニングシートの粘着面を手前に向け、給紙口の右端にあわせてセットします。
⑤ 用紙ガイドとリリースレバーをいっしょにつまみながらスライドさせて、クリーニングシートの幅にあわせます。
⑥ 電源スイッチを約 5 秒間押したあとで放し、クリーニングシートをプリンタ内に送り込みます。
⑦ 電源スイッチをもう一度押して、クリーニングシートを排出します。
⑧ 電源スイッチを押して、電源を入れます。
⑨ 排紙されたクリーニングシートを裏返し、給紙口の右端にあわせてセットします。
⑩ 手順⑤から手順⑦を繰り返します。

9 エラー表示

エラー発生時には、操作パネル上にエラー表示が出ますので、下記の対処を行なってください。エラー表示は 1 文字づつ順番に表示されます。

エラー表示	原　因	対　処
	● ページマークが読み取れず、ホワイトシートが正常な位置で停止できません。	● 本体内左端の蛍光灯が点灯しているか確認してください。 ● シートに物がはさまったり、手で押さえられたりしていないかチェックしてください。 ● 解消されない場合は当社サービス窓口にお問い合わせください。
	● その他のホワイトシートの移動エラーです。	● 当社サービス窓口にお問い合わせください。
	● プリンタケーブルが接続されていません。	● プリンタに電源が入っていません。 ● プリンタの接続を確認し、プリンタの電源を投入してください。 ※本体の電源スイッチは操作しないでください。E299 の原因になります。
	● プリンタの用紙切れです。	● プリンタに用紙を補給し、プリンタの電源スイッチを押してください。 ※本体の電源スイッチは操作しないでください。E299 の原因になります。
	● プリンタのインク切れです。（黒インクカートリッジ）	● プリンタの黒インクカートリッジを交換し、プリンタの電源スイッチを押してください。 ※本体の電源スイッチは操作しないでください。E299 の原因になります。
	● プリンタのインク切れです。（カラーインクカートリッジ）	● プリンタのカラーインクカートリッジを交換し、プリンタの電源スイッチを押してください。 ※本体の電源スイッチは操作しないでください。E299 の原因になります。
	● 用紙が切れた時に本体の電源を切ると発生します。 ● その他のプリンタエラーです。	● 本体の電源を切り、コンセントを抜差ししてください。 約 1 分お待ち頂いた後、本体の電源を入れてください。 ● 当社サービス窓口にお問い合わせください。

エラー表示	原　因	対　処
	● USB メモリが挿入されていません。	● USB メモリが挿入されているか確認してください。
	● USB メモリがフォーマットされていません。	● USB メモリをパソコンでフォーマットしてください。
	● USB メモリに空きスペースがありません。	● 空き容量を確保してください。
	● USB メモリに保存できません。	● USB メモリの書き込み禁止を解除してください。
	● その他の USB メモリエラーです。	● 当社サービス窓口にお問い合わせください。

エラー表示	原　因	対　処
	● LAN ケーブルが未接続です。	● LAN ケーブルの接続を確認してください。
	● LAN 共有フォルダに接続できません。	● 時間をおいてから再度お試しください。 ● 設定画面の内容が正しいか確認してください。
		
	● LAN 認証に失敗しました。	● 設定画面のユーザ名とパスワードを確認してください。
	● LAN 共有フォルダに書込みできません。	● 共有フォルダを設定したディスクの空き容量を確認してください。
	● LAN 共有フォルダに接続できません。	● 共有フォルダ名を確認し、設定画面の内容が正しいか確認してください。
	● LAN 共有フォルダに保存できません。	● 共有フォルダのファイルの書き込み許可を確認してください。
	● その他の LAN のエラーです。	● 当社サービス窓口にお問い合わせください。

10 こんなときには…（故障診断）

下記項目の対処を行なっても直らない場合、又は下記以外の状態が生じた場合には、当社サービス窓口にお問い合わせください。

状　態	原　因	対　処
● E から始まる数字が点滅表示されている。	● 装置にエラーが発生しています。	● 9. エラー表示（28 ページ）に従って対処してください。
● 電源スイッチを入れても、「電源」の緑色のランプが点灯しない。	● 電源プラグがコンセントに入っていません。	● 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
● 一面白になる。 ● 縞模様が出る。	● インクカートリッジが正しく取り付けられていません。	● インクカートリッジの保護テープが取り除かれていることを確認し、インクカートリッジを左側のカートリッジホルダーに正しく取り付けてください。
● 一面黒になる。	● 装置内部の蛍光灯が切れています。	● 当社サービス窓口に連絡してください。サービス員が蛍光灯を交換に伺います。
● 黒い帯が出る。	● 蛍光灯が低温です。	● 約 3 分間お待ちください。
● 黒いはん点が出る。	● カラー印刷時にはカラー部分に黒点が混じることがあります。 ●「こく」を選んだときは、コピーの白い部分に黒いはん点が出ることがあります。	●「こく」キーを押し、「こく」を解除してください。
● 文字等が薄かったり、かすれたりする。	● ホワイトシートへ筆記された線が、細いか、薄いためです。	● 筆記は太く、濃く書いてください。または「こく」キーを押して、コピー濃度を濃くしてください。
	● インクカートリッジのインクが残り少なくなっています。	● インクカートリッジを交換してください。
	● インクカートリッジが汚れています。	● インクカートリッジのノズルと接触面の掃除をしてください。

状　態	原　因	対　処
● 色が正しくでない。	● 蛍光灯が低温です。	● 約 3 分間お待ちください。
	● インクカートリッジのインクがなくなっています。	● インクカートリッジを交換してください。
● プリンタの電源スイッチが点滅している。	● 用紙切れか紙づまりが発生しています。	● 給紙口に用紙をセットしてプリンタ電源スイッチを押してください。 ● 紙づまりの場合は紙づまりを取り除きます。
● プリンタの電源スイッチが 2 回または 4 回ずつ間をおいて点滅している。	● カートリッジキャリアが停止しています。	● プリンタの電源を切ります。 ● フロントカバーを開き、キャリアの動きを妨げているものを取り除きます。 ● フロントカバーを閉め、プリンタの電源を入れます。
● プリンタの電源スイッチが 1 回の点滅と 2 回連続の点滅を繰り返す。	● インクカートリッジの回路がショートしています。	● 新しいインクカートリッジに交換してください。

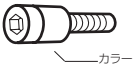
- 印刷の問題、プリンタのメンテナンス等、プリンタに関する詳細はプリンタの取扱説明書をご覧ください。
- プリンタの使用範囲温度は１６℃～３２℃です。この範囲外で使用した場合、鮮明な印刷ができないことがあります。
- インクカートリッジの目詰まり防止のため、週に１度は印刷を行ってください。
- 長期間ご使用にならなかったときは、新しいインクカートリッジに交換してからご使用になることをお勧めします。

11 組立手順

組み立てをはじめる前に

下記の構成部品リストにより部品の有無をチェックしてから、手順に従って組み立ててください。
倒れないように水平な場所に設置してください。

■ スタンド構成部品リスト

No.	品名	数量
1	ポール（支柱キャップ付）	2
2	キャスター付き脚	2
3	中棒	1
4	座金組込六角穴付ボルト（M８× 35）	4
5	六角穴付ボルト・カラー付（M８× 40） 	6

- 六角穴付ボルトは、添付品の六角レンチ（スタンド梱包箱に在中）により、締め付けてください。

■ ボード構成部品リスト

No.	品名	数量
1	ボード本体	1
2	プリンタ受け板	1
3	プリンタ受け板取付ネジ	2
4	スタッカ	1
5	マグネット	2

■ プリンタ構成部品リスト

No.	品名	数量
1	プリンタ本体	1
2	インクカートリッジ（カラー x1, ブラック x1）	2
3	テスト用 A4 普通紙	5

- 本装置は精密機械なので、取り扱いには充分ご注意ください。
- スタンド付Ｔ型（自立式）の場合を示しています。Ｌ型（壁寄せ式）、W型（壁取付式）の場合は販売店へご相談ください。
- 74 ページの添付品リストもご確認ください。

スタンドの組立

① ポールと脚の組立て
キャスター付き脚とポールを座金組込六角穴付ボルト（M8 × 35）で固定してください。

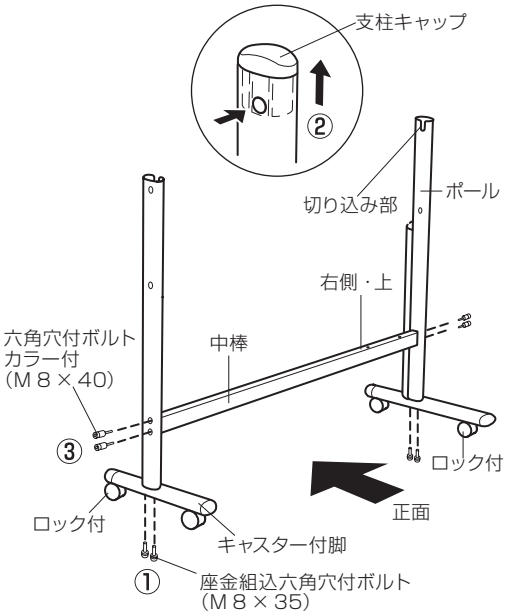
※ 正面から見て、ロック付きキャスターを、右前、左後にしてください。

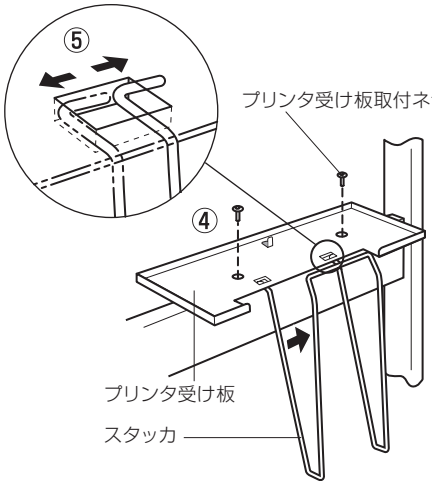
② ポールの支柱キャップを、右図のように指でボタンを押しながら、上にスライドさせて外してください。

③ ポールと中棒の組立て
ポール上部切り込みがある方を内側にします（ケーブルカバー付ポールを右側）。　次にポール間に中棒のネジ穴のある方を右側・上にして、六角穴付ボルト･カラー付（M8 × 40）で固定してください。

④ プリンタ受け板の取付け
プリンタ受け板の切り込みのある方を手前側にして、中棒の右側に受け板取付ネジで固定してください。

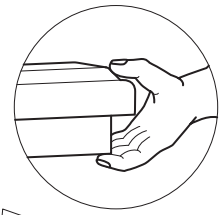
⑤ スタッカの取付け
スタッカの取付部を内側に曲げて、プリンタ受け板の溝部に差し込み、スタッカを取り付けてください。





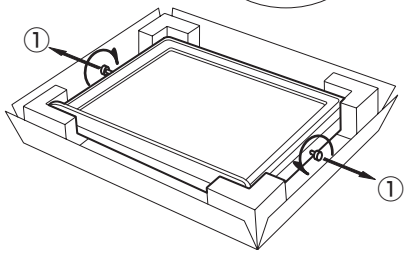
ボードをスタンドに取り付ける

●ボードをスタンドに取り付けるときは二人で作業してください。

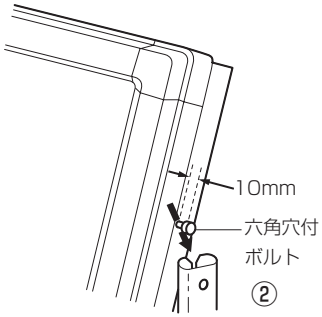


① ボード本体を梱包から取り出すまえに、ボード左右 2 ケ所の六角穴付ボルトを首下約 10mm にゆるめてください。

※ ボードを取り出す場合、本体前枠でなくボード全体をつかみ持ち上げてください。



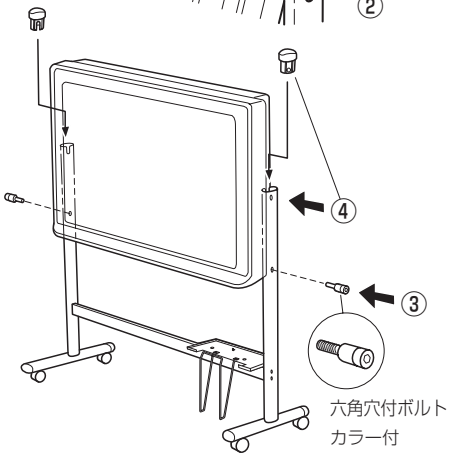
② ポール上部の切り込みにボード左右の六角穴付ボルトをはめ込んでください。



③ スタンドポール中央の穴に六角穴付ボルト・カラー付で固定します。

⚠ 注意

ボルトのカラーを外して組立てるとボード本体内部が破損し、火災・感電の原因となることがあります。

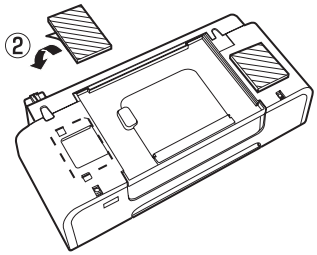


④ ②の六角穴付ボルトを締め、外しておいたスタンドの支柱キャップを取り付けてください。

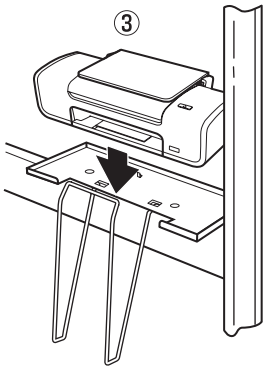
プリンタを取り付ける

① 固定テープをすべて取り外してください。

② マグネットの接着テープの剥離紙をはがし、プリンタの底部に貼り付けてください。（2 ケ所）

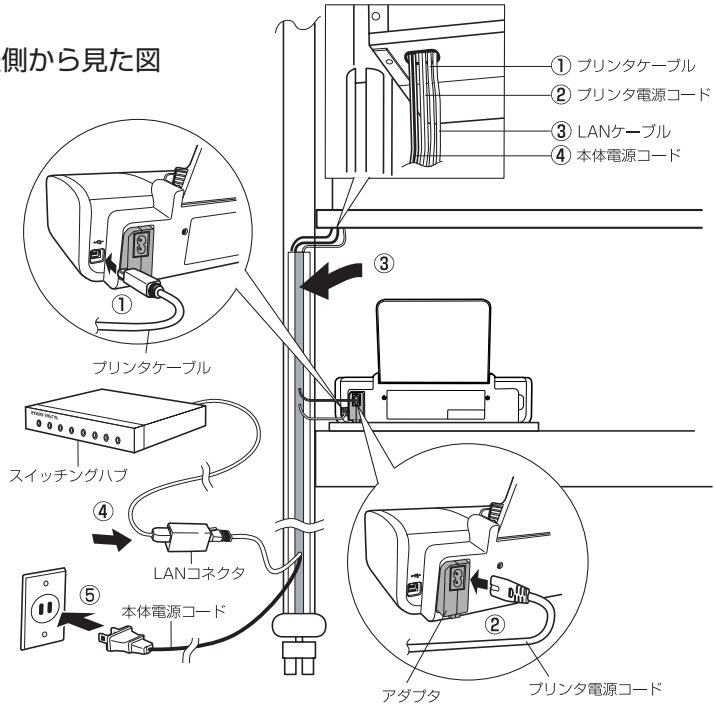


③ プリンタをプリンタ受け板にのせてください。



プリンタと本体 ,LAN ケーブルを接続する

■ 後側から見た図



① 本体下部から出ているプリンタケーブルをプリンタに接続します。コネクタは向き合わせ、奥まで差し込み固定してください。

② プリンタ電源コードのアダプタをプリンタのアダプタ接続部に接続してください。

③ 本体と接続するケーブル、コード（4本）を右ポールのケーブルカバーに入れてください。

④ LAN コネクターとハブ又はパソコンを LAN クロスケーブルで接続してください。

⑤ 本体電源コードのプラグを室内コンセントに差し込んでください。

※ ハブ、LAN ケーブルはお客様がご用意ください。

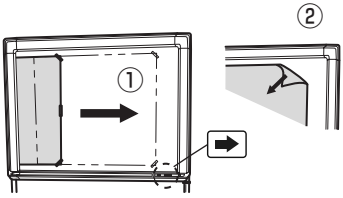
12 ホワイトシート保護紙について

4 面式のみ保護紙が取り付けられています。
保護紙は、移設時に使用致しますのでお客様にて保管してください。

LF-54・LFW-54

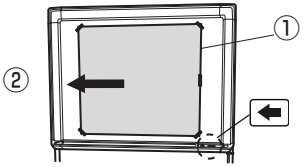
保護紙の取り外し

① 組立てが終りましたら、保護紙が裏側に取り付けてありますので、右送りキーを押して保護紙が全部現れるまで右側に送ってください。
② 保護紙を取り外してください。



保護紙の取り付け

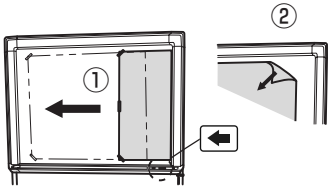
① 再梱包や平置きでの移動の際に、シート面どうしが密着して作動しなくなる恐れがありますので、シート面に保護紙をテープ等で貼り付けてください。
② 左送りキーで左側に 1 面送ってください。



LF-53S・LFW-53S

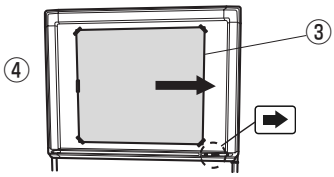
保護紙の取り外し

① 組立てが終りましたら、本体の電源を入れてください。現在の映写スクリーン面が、自動的に左へ移動します。保護紙が裏側に取り付けてありますので、左送りキーで、もう 1 面送ってください。
② 保護紙が全部現れたら、保護紙を取り外してください。
※ 保護紙を取り外す際は、シート面を痛めることがありますので充分注意してください。



保護紙の取り付け

① 再梱包や平置きでの移動の際に、シート面どうしが密着して作動しなくなる恐れがありますので、シート面に保護紙を貼ります。スクリーンキーで映写スクリーン面を出します。

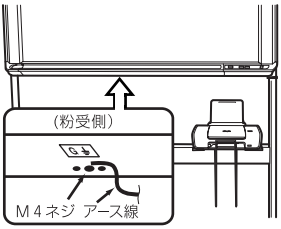


② 左送りキーで 2 面送ってください。
③ シート面に保護紙をテープ等で貼り付けてください。
④ 右送りキーで 1 面送ってください。
⑤ スクリーンキーで映写スクリーン面を出し、電源を切って完了です。

アース線の接続

⚠注意

湿気の多い場所で使用する場合はアース接続をしてください。
右図のアース端子表示がしてある箇所のＭ４ネジにアース線を接続します。
アース線は付属していませんのでご用意ください。



MEMO

13 日時設定

※工場出荷時に調整済みですが、調整を要する場合は下記手順にて設定願います。

▶日時を設定する。

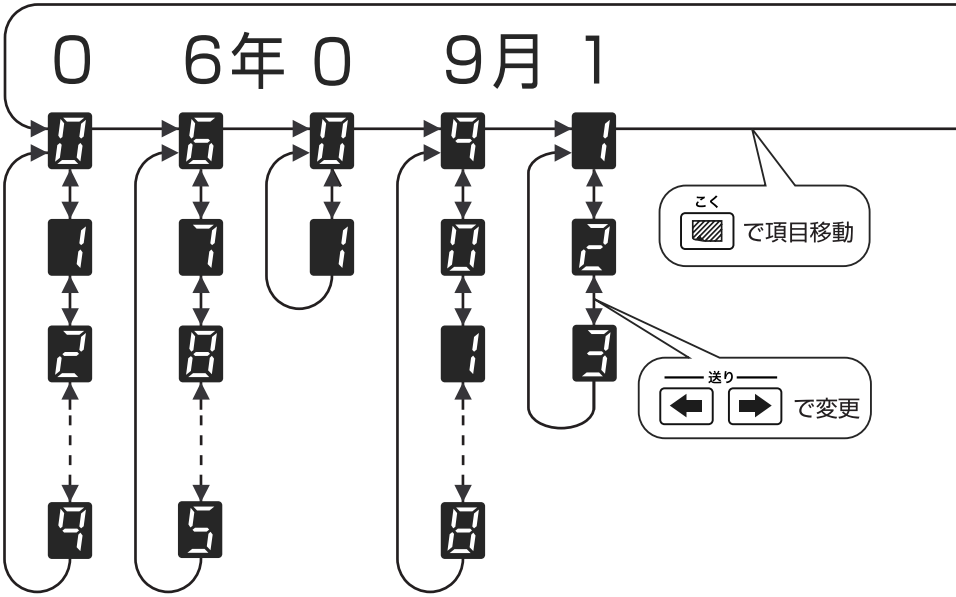
① 日時設定モードにする

- ■「→」キーと「こく」キーを押しながら、電源スイッチを「｜」の方に倒してください。
- ■ 電源を入れると「－」が表示され、日時設定モードになります。

② 日時を入力する

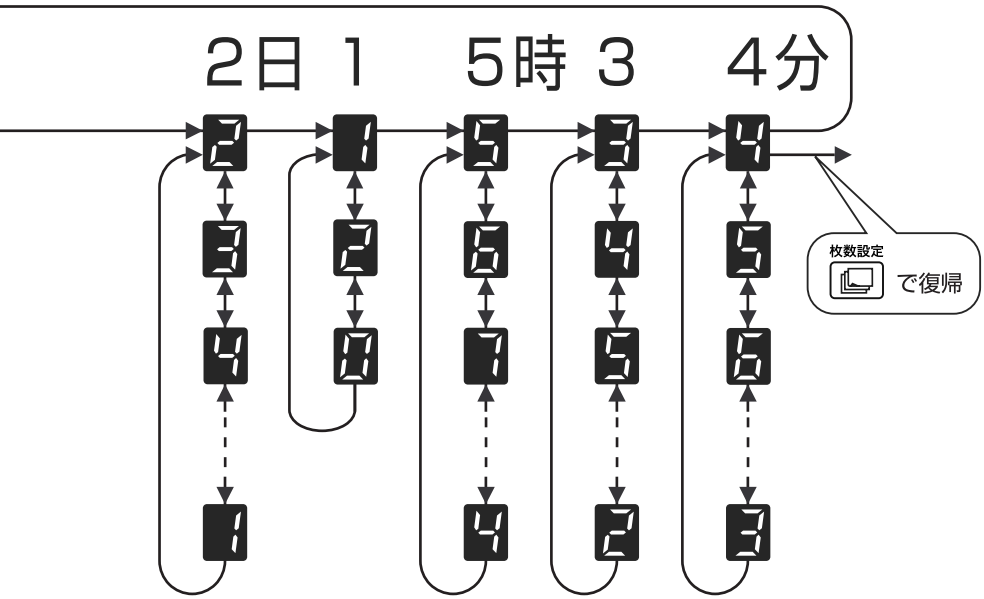
- ■「枚数設定」キーを押すと西暦の２桁目が表示されます。
- ■「こく」キーを押し、年、月、日、時、分を切り替え、「←」「→」キーで値を調整します。（下図を参照してください）

例：06年 09月 12日 15時 34分



③ 日時を記憶させる

- ■ 時刻設定中に「枚数設定」キーを押すと、入力した時刻を印刷します。


2日 1 5時 3 4分
枚数設定
で復帰

MEMO

14 LAN 接続の設定

設定作業上の注意

- パソコンで設定作業を行うには、「コンピュータの管理者」でログオンする必要があります。「コンピュータの管理者」については、パソコンまたは OS の取扱説明書をご参照ください。
- Windows2000 の場合も同様の手順となりますが一部画面が異なります。詳細はパソコンまたは OS の取扱説明書をご覧ください。

設定作業の流れ

1 新規アカウントを作成します

保存用パソコン (サーバー) にプランテージ用アカウントを作成します。

既存のアカウントを使用する場合は、作成せず2に進んでください。

※ ActiveDirectory 環境及び、NT ドメイン環境下の Kerberos 認証には対応しておりません。
ただし、同環境下のサーバー上に共有フォルダを作成しての運用は可能です。

2 保存用共有フォルダの設定をします

保存用パソコン (サーバー) に共有フォルダを作成します。
既存の共有フォルダ、既存のアクセス権を使用する場合は4に進んでください。

3 ネットワーク設定を変更します

プランテージのネットワーク設定をお客様の LAN にあわせて変更します。

4 プランテージの設定をします

プランテージに保存用共有フォルダとアクセスする際に使用するアカウント情報の設定をします。

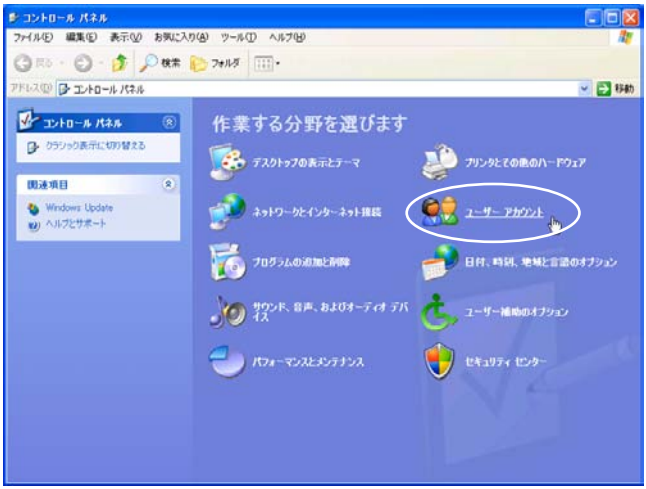
5 設定を保存します

設定画面の「設定を保存」をクリックし、設定を保存しない場合、コンセントを抜くと設定が失われます。

▶新規アカウント作成

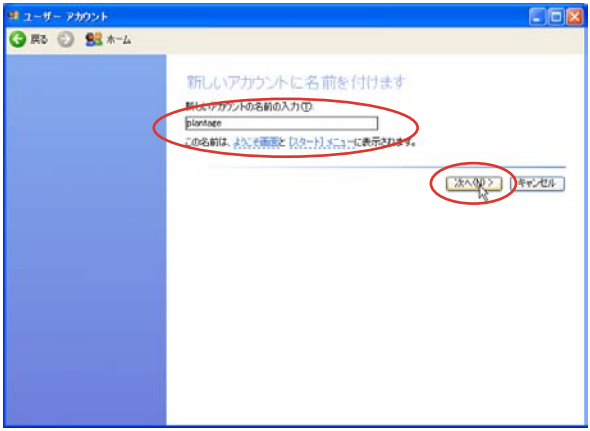
1 「スタート」をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

2 「ユーザーアカウント」をクリックします。

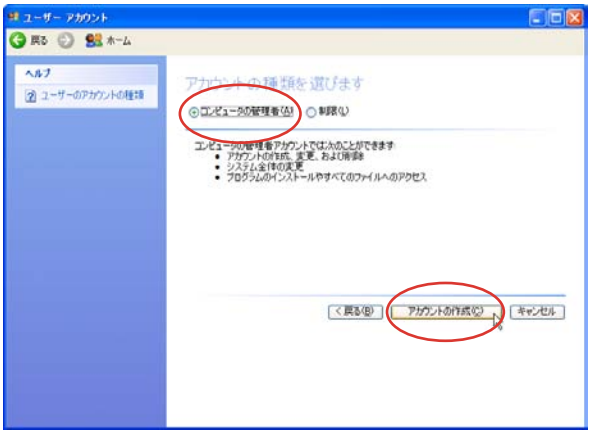


3 「新しいアカウントを作成する」をクリックします。

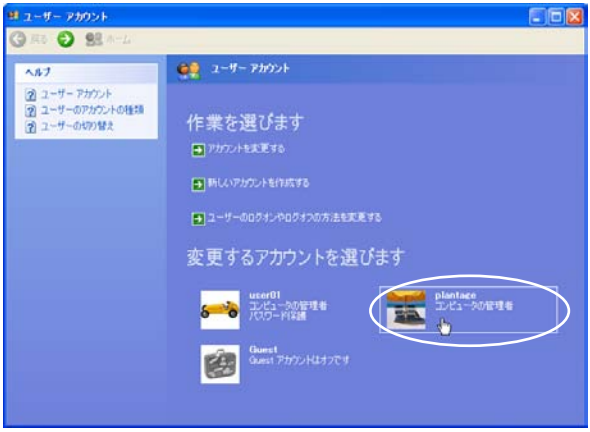
4 「新しいアカウントの名前の入力」に　plantage　と入力し、「次へ」をクリックします。



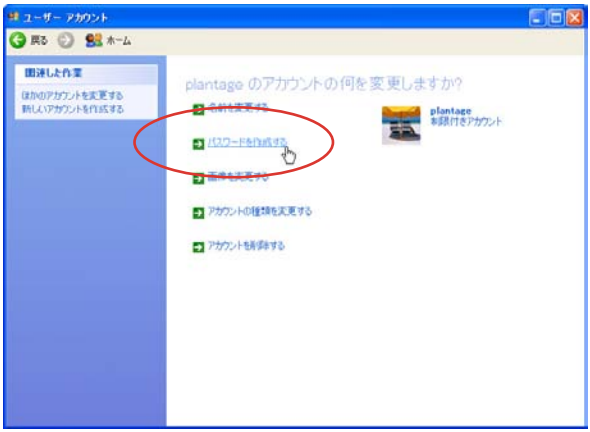
5 「○コンピュータの管理者」をクリックし、「アカウントの作成」をクリックします。



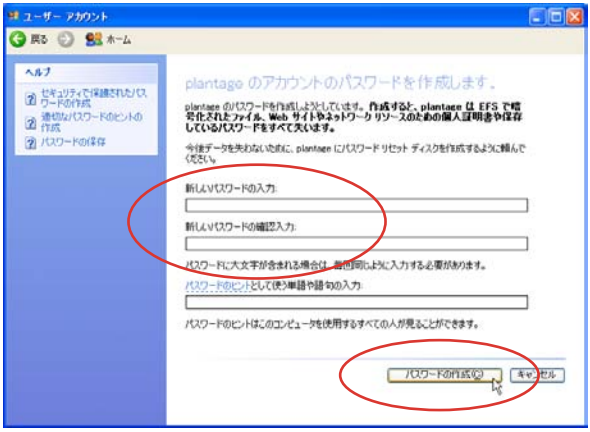
6 「plantage」をクリックします。



7 「パスワードを作成する」をクリックします。



8 パスワードに　nichigaku　と入力します。



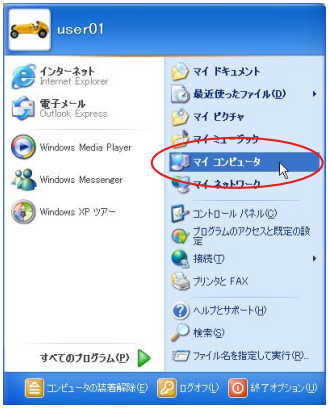
9 「パスワードの作成」をクリックします。開いている全てのウィンドウの「×」をクリックし、閉じます。

▶保存用共有フォルダの設定

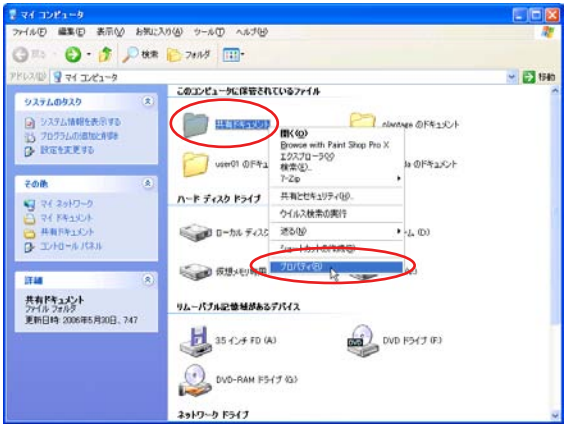
※ ここでは Windows XP に用意されている「共有ドキュメント」をプランテージ LAN 出力の保存先として使用する前提で説明します。Windows2000 を使用する場合は、任意のフォルダで２以降を行ってください。

※すでに共有フォルダの運用を行っている場合、新たにプランテージ用の共有フォルダを設定するか、既存の共有フォルダに対し、プランテージからのアクセスを許可する設定を行う必要があります。新たに共有フォルダを設定する場合は任意のフォルダで２以降を、既存の共有フォルダを使用する場合は３以降を行ってください。

1 「スタート」をクリックし、「マイ コンピュータ」をクリックします。



2 「共有ドキュメント」を右クリックし、プロパティをクリックします。



3 「共有」タブをクリックします。表示内容は以下の２通りがあります。

図１

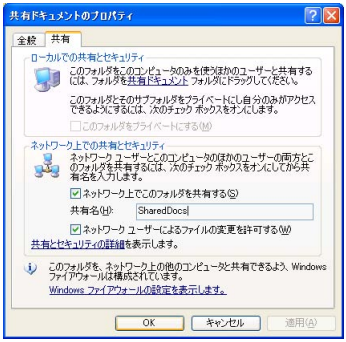
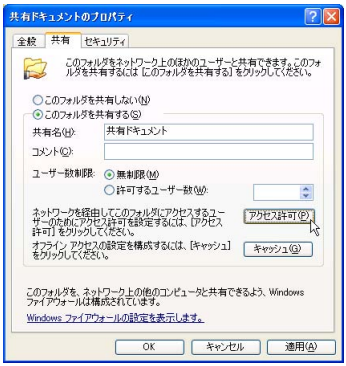


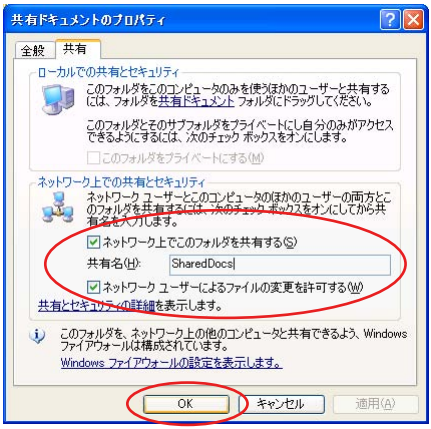
図２



表示の内容が図１の場合、Ａ－１から作業を行ってください。
表示の内容が図２の場合、Ｂ－１から作業を行ってください。

Ａ－１

以下の項目を確認します。



確認項目１
「ネットワーク上でこのフォルダを共有する」にチェックが入っていること

確認項目２
「ネットワークユーザーによるファイルの変更を許可する」にチェックが入っていること

A－2
各項目にチェックが入っていない場合、各項目をクリックし、チェックを入れます。

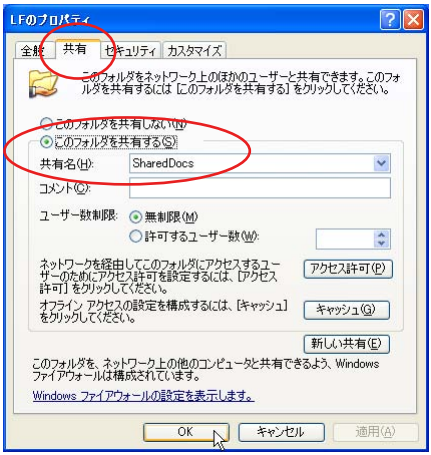
A－3
「共有名」をメモします。共有名が日本語の場合、SharedDocs としてください。

メモ１：共有名：［　　］

A－4
「OK」をクリックします。作業 B は行わず、４へ進んでください。

B－1
以下の項目を確認します。

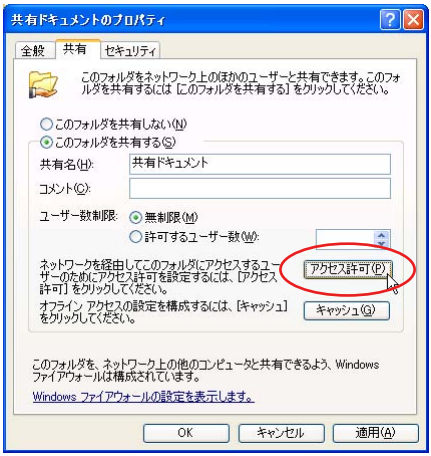
「このフォルダを共有する」が選択されていること



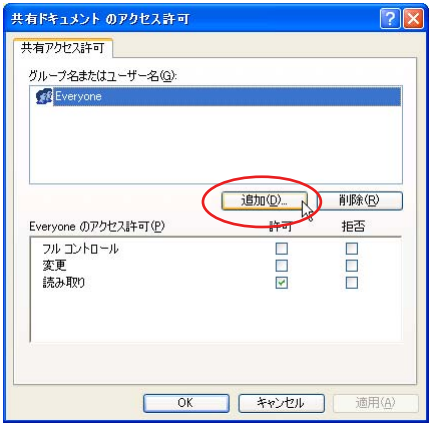
B－2
「共有名」をメモします。共有名が日本語の場合、SharedDocs としてください。

メモ１：共有名：［　　］

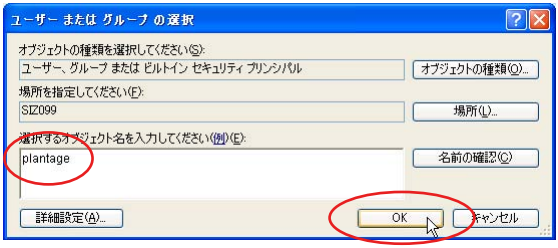
B－３
「アクセス許可」をクリックします。



B－４
「追加」をクリックします。

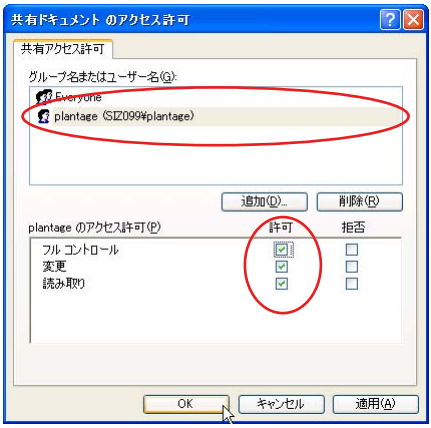


B－5
「選択するオブジェクト名を表示してください」に　plantage　と入力します。



B－6
「OK」をクリックします。

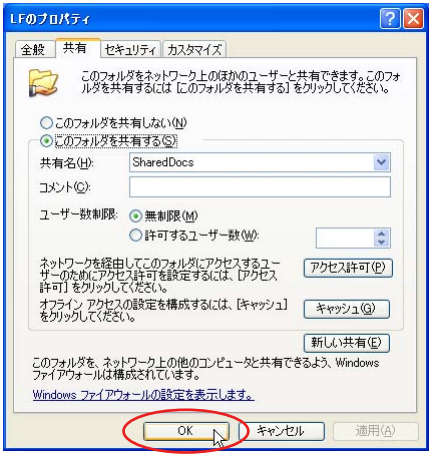
B－7
「グループ名またはユーザー名」の「plantage」をクリックします。



B－8
「plantage のアクセス許可」の「フルコントロール」の「許可」チェックボックスをクリックします。

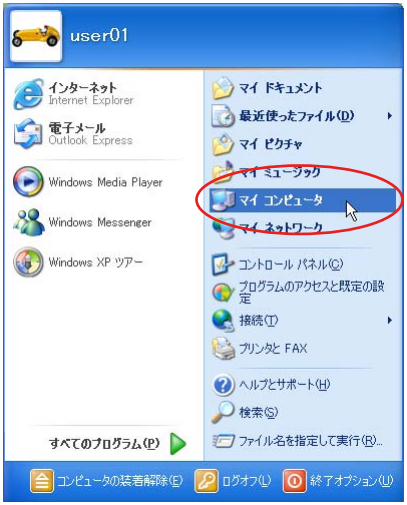
B－9
「OK」をクリックします。

B－１０
再度「OK」をクリックします。

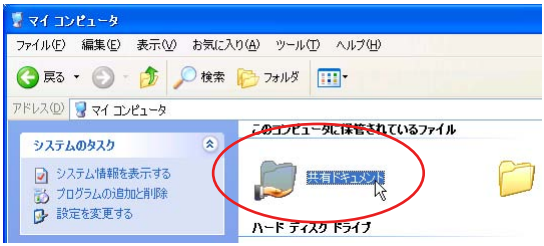


B－１１
開いている全てのウィンドウの「×」をクリックし、全てのウィンドウを閉じます。

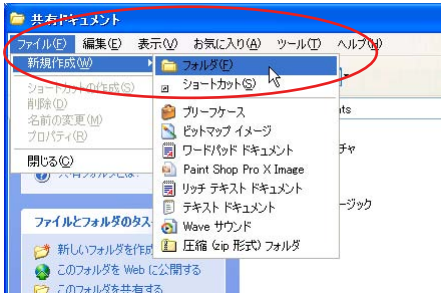
４「スタート」ボタンをクリックし、「マイコンピュータ」をクリックします。



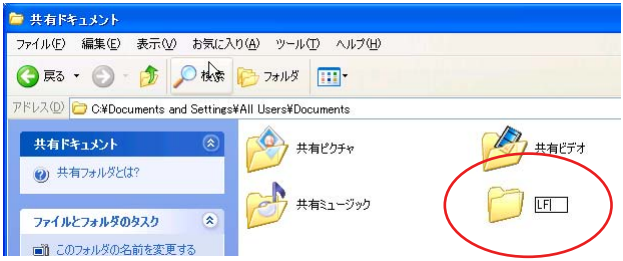
5 「共有ドキュメント」をダブルクリックします。



6 「ファイル」メニューをクリックし、「新規作成」をクリックし、「フォルダ」をクリックします。



7 LF と入力し、Enter キーを押します。



8 開いている全てのウィンドウの「×」をクリックし、全てのウィンドウを閉じます。

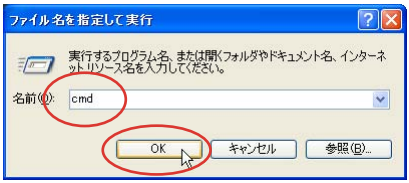
▶ネットワーク設定変更

3－1　保存するパソコンの IP アドレスを調べます

1 「スタート」→「ファイル名を指定して実行」の順でクリックします。

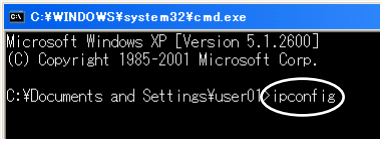
2 「名前」に　cmd　※1　と入力し、「OK」をクリックします。

※1　cmd は半角で入力してください。



3　ipconfig　※2　と入力し、Enter を押します。

※2　ipconfig は半角で入力してください。



4　表示された IP Address(アイピーアドレス)、Subnet Mask(サブネットマスク)、Default Gateway(デフォルトゲートウェイ) をメモします。下の欄に記入してください

メモ２：ipconfig の結果

IP Address：　[　　.　　.　　.　　]

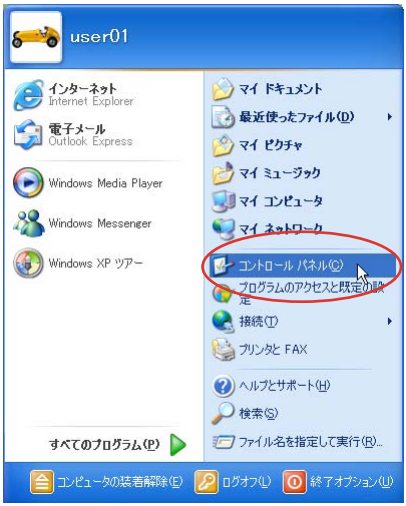
Subnet Mask：　[　　.　　.　　.　　]

Default Gateway：　[　　.　　.　　.　　]

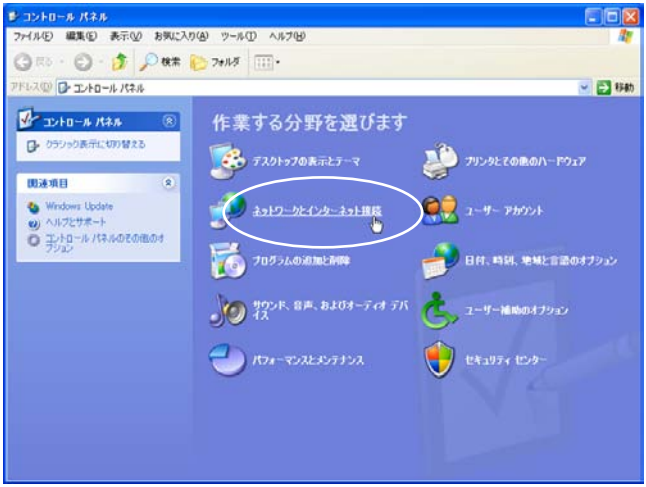
5　開いている全てのウィンドウの「×」をクリックし、全てのウィンドウを閉じます。

３－２ 保存するパソコンの IP アドレスを変更します

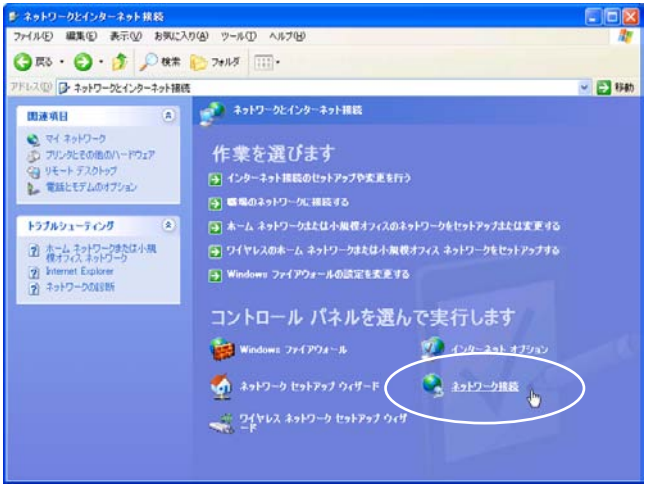
1　「スタート」→「コントロールパネル」の順でクリックします。



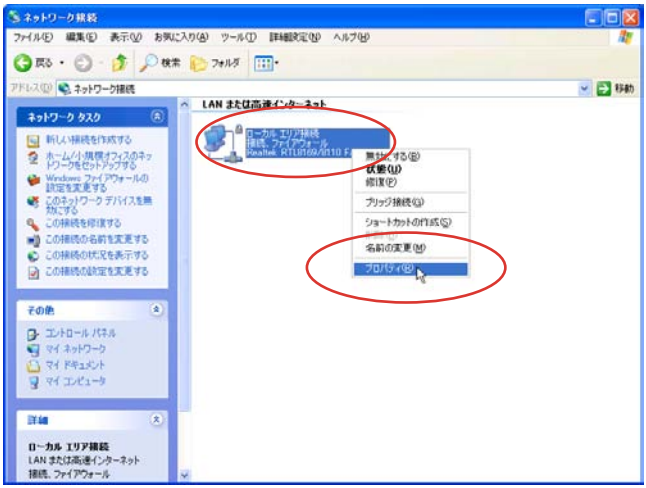
2 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。



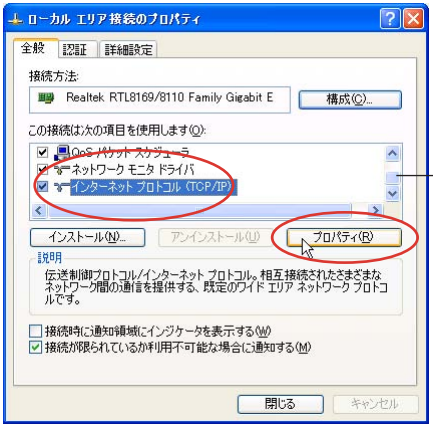
3 「ネットワーク接続」をクリックします。



4 「ローカルエリア接続」を右クリックし、プロパティをクリックします。



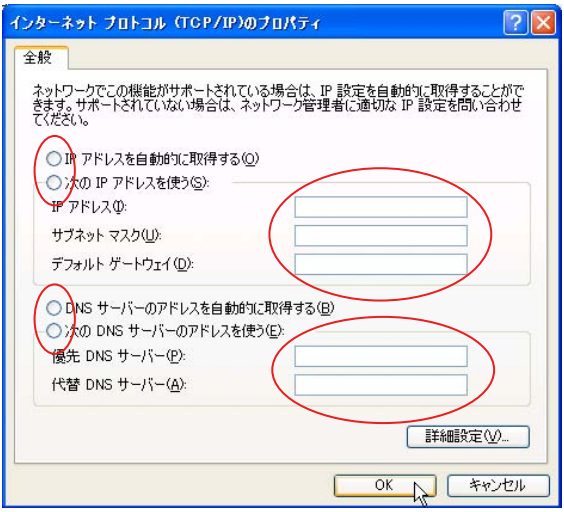
5 「インターネットプロトコル（TCP/IP）」をクリックし、「プロパ ティ」をクリックします。



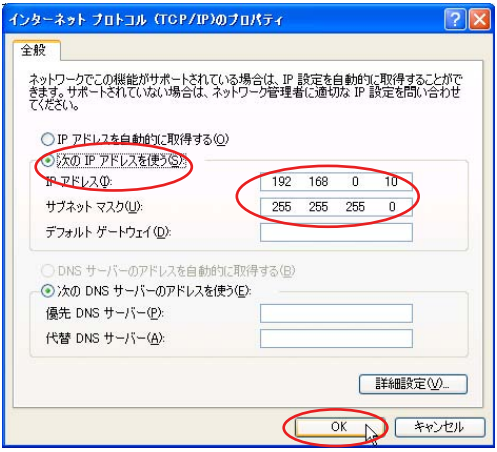
● 「インターネットプロトコル（TCP/IP）」が見当たらない場合、スクロ ールさせてください。

6　設定されている内容のメモを取ります。（メモ３：下の図に記入してください）

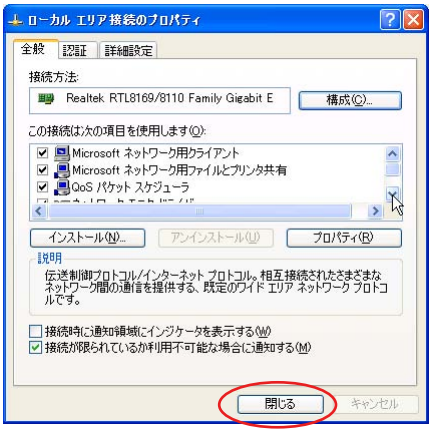
※ IP アドレス、DNS サーバーのアドレスが自動取得のお客様は空欄で結構です。



7　「次の IP アドレスを使う」をクリックし、「IP アドレス」に「192.168.0.1 0」を、「サブネットマスク」に「255.255.255.0」を入力し、「OK」をクリックします。

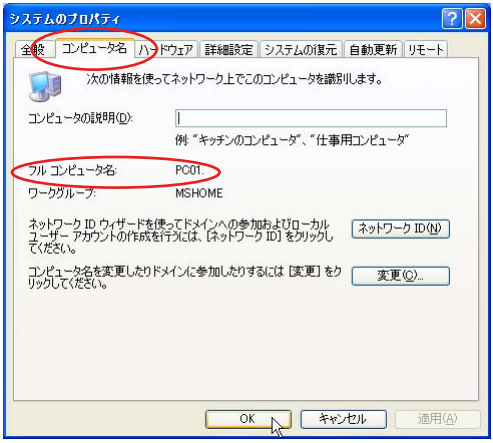


8 「閉じる」をクリックします。



9 「スタート」をクリックし、マイコンピュータを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

10「システムのプロパティ」が表示されます。「コンピュータ名」タブをクリックしてください。



11「フル コンピュータ名」のメモを取ります。

※最後のピリオドは不要です。メモには含めないでください。
※ ActiveDirectory 環境でご使用の場合、メモ2の IP Address を転記してください。

メモ４：フル コンピュータ名：[　　]

12開いている全てのウィンドウの「×」をクリックし、全てのウィンドウを閉じます。

▶プランテージの設定

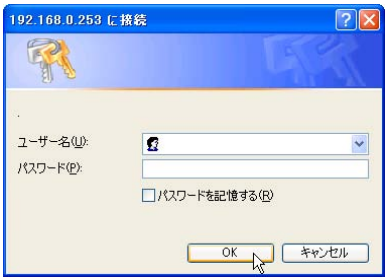
プランテージの設定は、パソコンからインターネットエクスプローラーで行います。

1　プランテージの電源を入れてください。エラー表示がある場合、濃くボタンを2回押してください。

2　インターネットエクスプローラーを起動します。この時、「ページを表示できません」と表示される場合がありますが、そのまま作業を進めてください。

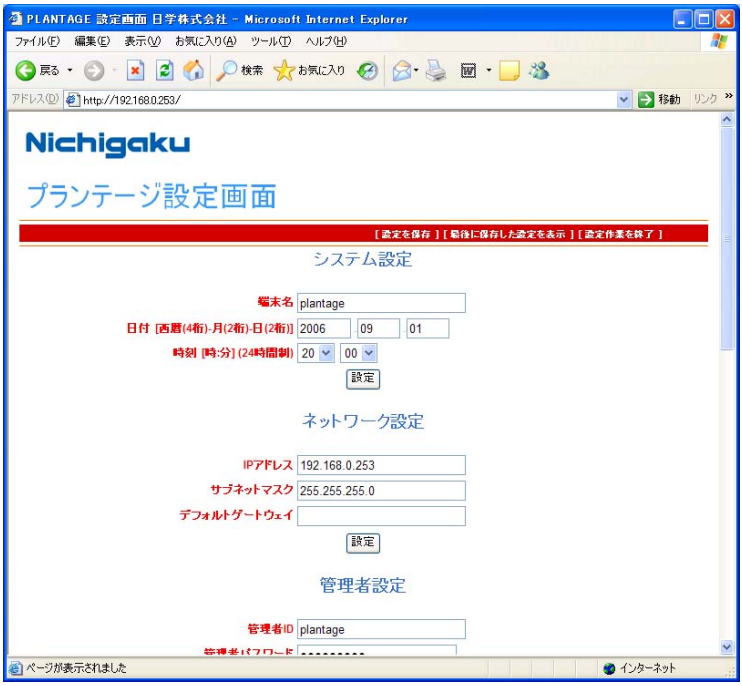
3　アドレス欄に http://192.168.0.253/ と入力し、Enter キーを押します。

4　以下のような認証画面が表示されます。



「ユーザー名」に plantage「パスワード」に nichigaku と入力し、「OK」をクリックします。

5　プランテージ設定画面が表示されます。



6　システム設定で端末名、日付、時間を設定します。

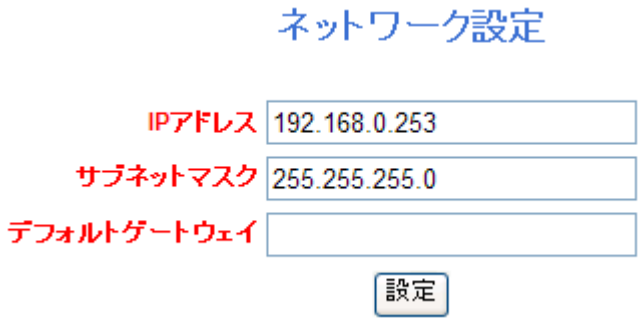
6－1
端末名はプランテージの名前になります。英数字で入力してください。通常はこのままでかまいません。

※同一ネットワーク内で複数のプランテージをご使用になる場合、端末名が重複しないよう命名してください。

6－2
日付、時刻を設定し、入力が終わったら「設定」をクリックしてください。

6－3
「プランテージ設定画面」が再度表示されるまでお待ちください。

7　ネットワーク設定でプランテージをお客様のLANに参加できるようにします。



7－1
IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力ます。

「IP アドレス」は、「メモ２：ipconfig の結果」（54 ページ）の
「IP Address：[　．　．　．　]」の最後の数字を 253 にしたものを入力します。

※必ずしも２５３である必要はありません。お客様の LAN にあわせた設定をお願いいたします。

「サブネットマスク」は「メモ２：ipconfig の結果」（54 ページ）の
「Subnet Mask」と同じ数を入力します。

「デフォルトゲートウェイ」は「メモ２：ipconfig の結果」（54 ページ）の
「Default Gateway」と同じ数を入力します。

※数値と数値の間に、ドット「 . 」を入力して区切ってください。

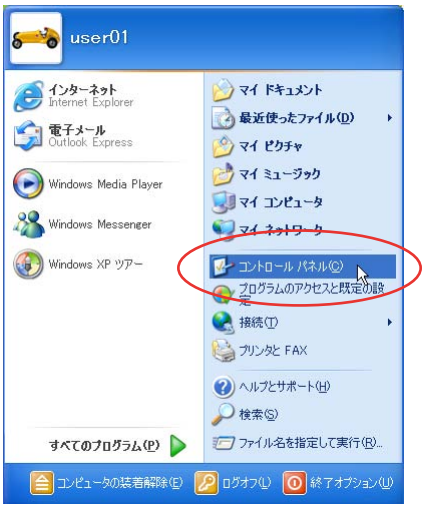
7－2
設定画面の「IP アドレス」に入力した数字のメモを取ります。

メモ５：プランテージの IP アドレス：[　　]

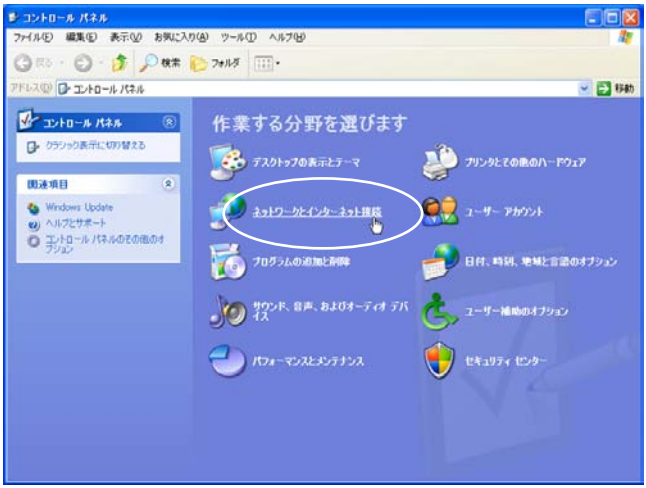
8　入力が終わったら「設定」をクリックしてください。メッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。

9　開いているウィンドウを全て「×」で閉じます。

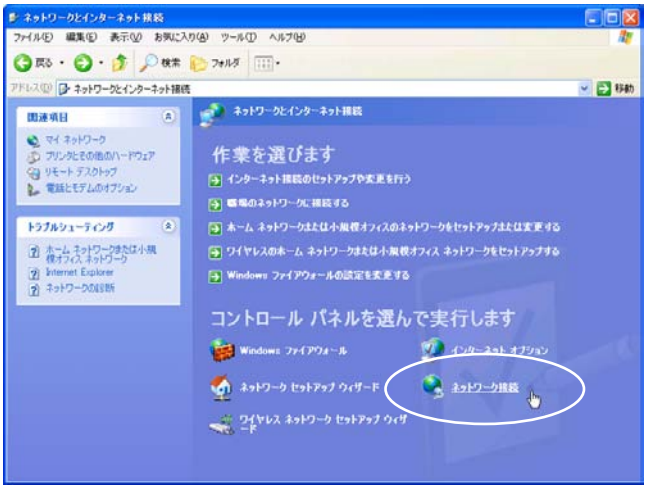
10「スタート」をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。



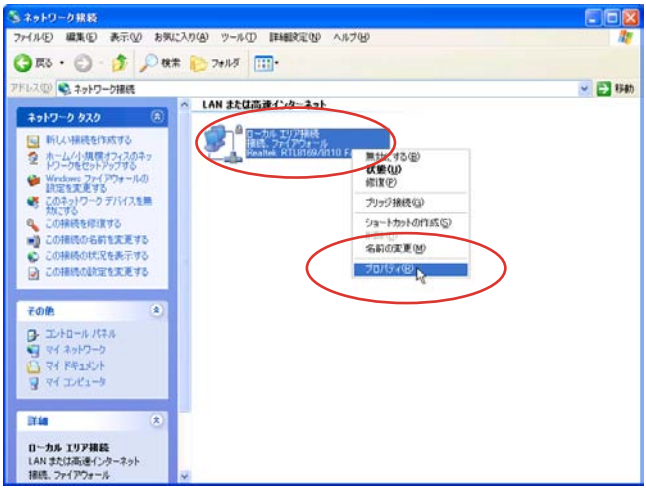
11「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。



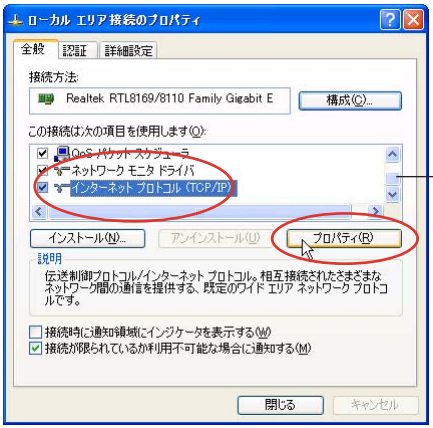
12「ネットワーク接続」をクリックします。



13「ローカルエリア接続」を右クリックし、プロパティをクリックします。



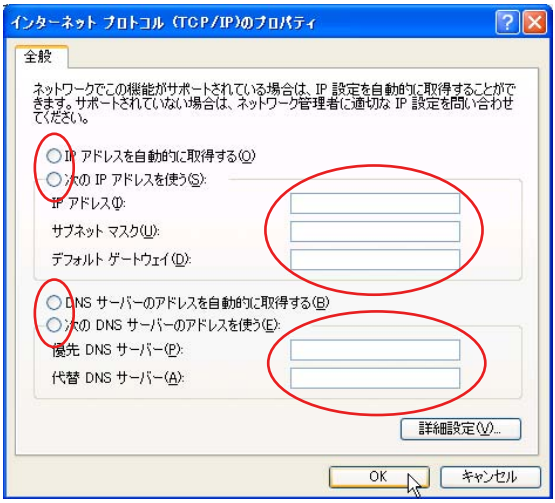
14「インターネットプロトコル（TCP/IP）」をクリックし、「プロパティ」をクリックします。



● 「インターネットプロトコル（TCP/IP）」が見当たらない場合、スクロ ールさせてください。

15「メモ３：インターネットプロトコル」の内容を書き戻し、「OK」をクリックします。

※ IP アドレス、DNS サーバーのアドレスが自動取得のお客様はチェックボックスをクリックしてチェックマークを入れてください。



16 お客様の LAN 環境で再度プランテージの設定画面を開きます。

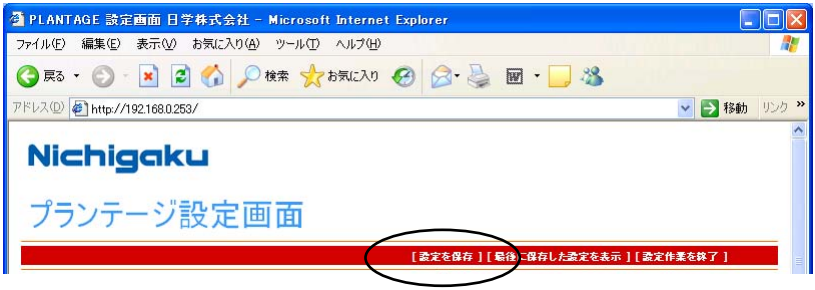
16 － 1
インターネットエクスプローラーを起動します。この時、「ページを表示できません」と表示される場合がありますが、そのまま作業を進めてください。

16 －2
アドレスの欄に http:// ※メモ５にある IP アドレス ※ を入力し、Enter キーを押します。以下のような認証画面が表示されます。

「ユーザー名」に plantage「パスワード」に nichigaku と入力し、「OK」をクリックします。

※ 16 － 2 で認証画面が表示されない場合、ネットワークの設定が誤っている可能性があります。この場合、プランテージのコンセントを抜き差しし、「3 ネットワーク設定変更」（53 ページ）から再度やり直してください。

17「設定を保存」をクリックします。



18 共有フォルダ設定で保存先パソコンを指定します。

18 － 1

共有フォルダに // ※コンピュータ名※ / ※共有名 ※ と入力します。
※コンピュータ名※には「メモ４：フルコンピュータ名」（59 ページ）を、
※共有名※には「メモ１：共有名」（48 ページ）を入力してください。

※ ActiveDirectory 環境でご使用の場合、メモ2の IP Address をコンピュータ名に入力してください。

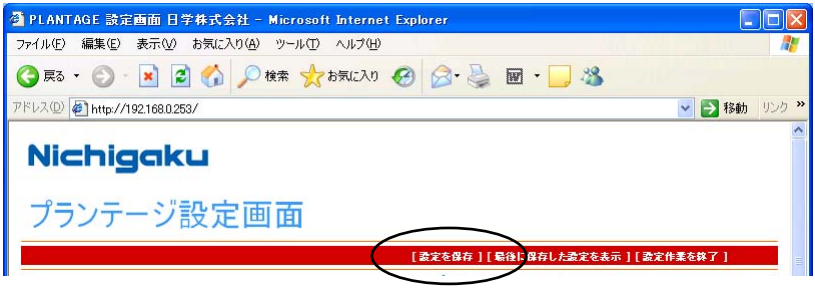
18 － 2

既存のアカウントを使用する場合、認証用ユーザー名とパスワードにアカウント情報を入力します。

18 － 3

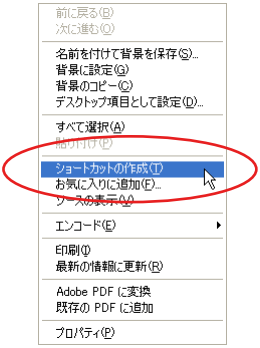
入力したら「設定」をクリックします。「プランテージ設定画面」が再度表示されるまでお待ちください。

19「設定を保存」をクリックします。



20「プランテージ設定画面」が再度表示されるまでお待ちください。

21 設定画面の何も書いていないところを右クリックします。



22「ショートカットの作成」をクリックし、「OK」をクリックします。

23「×」をクリックしてインターネットエクスプローラーを終了します。

24 デスクトップに「プランテージ設定画面」のショートカットが作成されている
ことを確認します。

以上で設定は終了です。

15 LAN 保存先について

LAN キーを押したとき、表示されている枚数設定によって保存先フォルダやファイル名を複数指定することができます。

保存フォルダ名

パソコン上に設定された共有フォルダ内に、新たにフォルダを作成した場合、作成したフォルダ名を保存フォルダ名に入力すると、最大 9 フォルダの保存先を選択できます。

指定できるフォルダは、共有フォルダを開いたときに表示されるフォルダになります。共有フォルダにあるフォルダの、さらに中にあるフォルダは指定できません。

保存ファイル名

ファイル名を 3 通りから指定できます。

1, 端末名＋連番

設定した端末名に連番が付くタイプです。

例　端末名：plantage

保存されるファイル名：plantage000001.png ※1

2, フォルダ名＋連番

保存先フォルダ名に連番が付くタイプです。

例　保存先フォルダ名：議事録

保存されるファイル名：議事録 000001.png ※1

※1 画像ファイルフォーマットの名称。Internet Explorer 4.0 以上で開きます。

3, 書式指定＋連番

日付や時間をファイル名に付けられるタイプです。

指定できる書式は、以下のとおりです。

%y: 西暦　%m: 月　%d: 日　%h: 時　%n: 分　%s: 秒

例　議事録 %y 年 %m 月 %d 日 %h 時 %n 分

保存されるファイル名：

議事録 2006 年 10 月 01 日 16 時 55 分 000001.png ※1

※1 画像ファイルフォーマットの名称。Internet Explorer4.0 以上で開きます。

認証用ユーザー名・パスワード

共有フォルダに設定されたユーザー名とパスワードを入力してください。

16 アフターサービス

保証書

別に添付してあります。保証書は設置時にお受け取りいただき、よくお読みのうえ大切に保管してください。

保証期間

保証期間は装置取り付けの日から 1 年間です。

保証期間中に修理を依頼されるとき場合、この取扱説明書の各項目をよくお読みのうえ、再点検をしていただき、なお直らないときにはサービスコールをしてください。保証書の規定に従って、お買い求めいただいた販売店または本取扱説明書末項に記載されているサービス窓口が修理いたします。

●ご連絡いただきたい内容
ご住所、ご氏名、電話番号、製品名、製造番号、故障または異常の内容、訪問のご希望日

保証期間経過後に修理を依頼される場合、サービス窓口にまずご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

その他

修理などアフターサービスについてご不明な点、またご転居やご移設の際は、お求めいただいた販売店、または本取扱説明書末項に記載されているサービス窓口までご相談ください。

● 保守サービス時間帯
9：00 ～ 18：00（土・日・祭日を除く）

本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 7 年間保有しています。

17 仕様

	項目	LF-52	LF-51S	LF-54	LF-53S	ワイドタイプ			
						LFW-52	LFW-51S	LFW-54	LFW-53S
入力部	外 形（T 脚を含む）	1462mm(W)×1900mm(H)×620mm(D)				1962mm(W)×1900mm(H)×620mm(D)			
	質 量（T 脚を含む）	約 36.5kg		約 38.5kg		約 41kg		約 43kg	
	ボード面サイズ	約 1260mm（W）× 900mm（H）				約 1760mm（W）× 900mm（H）			
	有効入力エリアサイズ	約 1240mm（W）× 880mm（H）				約 1740mm（W）× 880mm（H）			
	面数	2面(エンドレス方式)		4面(エンドレス方式)		2面(エンドレス方式)		4面(エンドレス方式)	
	コピー可能面数	2 面	1 面	4 面	3 面	2 面	1 面	4 面	3 面
	スクリーン面数	なし	1 面	なし	1 面	なし	1 面	なし	1 面
	貼付コピー	キャリアシート（オプション）による							
	筆記具	専用マーカー（黒、赤、青…3 色）※緑マーカーは付属しておりません。 推奨マーカー：パイロットホワイトボードマーカー みえみえ WBMVM-20L-G							
読取部・記録部	読取方式	CCD センサ 1 次読取り式							
	光　源	蛍光灯（35 W高周波点灯）							
	印刷方式	インクジェット方式							
	印刷用紙	普通紙 A4（210 × 297mm）							
	プリンタ解像度	600 × 600dpi							
	出力用紙サイズ	A 4 サイズ							
	コピー設定枚数	1 ～ 9 枚							
	ファイル形式	PNG 形式 ※1							
	USB メモリフォーマット	FAT							
	LAN	10 /100 BASE-TX（RJ-45 コネクタ）							
使用条件	電源 / コードの長さ	AC 100 V± 10%（50/60 Hz）/ 3.5m							
	消費電力	待 機 時 約 56W（蛍光灯 ON） 動 作 時 約 70W 省電力時 約 19W（蛍光灯 OFF） （プリンタ含む）							
	周囲環境	温度 10 ～ 35℃（動作時） 湿度 45 ～ 80%（ 〃 ） 結露なきこと							

※1 画像ファイルフォーマットの名称。Internet Explorer 4.0 以上で開きます。

18 添付品・消耗品・オプション品

添付品

本製品には下記のものが含まれています。

No.	品　名	数　量	記　事
1	保証書	1 冊	
2	取扱説明書	1 冊	
3	イレーザー	1 個	
4	マーカー（黒、青、赤）	各 1 本	

USB メモリ、LAN ケーブルは付属しておりません。
万一、欠落している物がございましたら、恐れ入りますがお買い求めの販売店にお問い合わせ下さい。

消耗品

No.	品　名	商品番号	商品名	販売単位
1	マーカー（黒）	103503	クリーンマーカー（黒）	1 ダース
2	マーカー（赤）	103501	クリーンマーカー（赤）	1 ダース
3	マーカー（青）	103502	クリーンマーカー（青）	1 ダース
4	イレーザー	104005	CE-203	1 個
5	インクカートリッジ（ブラック）	標準タイプ 14 （詳細は 24 ページをご覧ください）		
6	インクカートリッジ（カラー）	標準タイプ 15 （詳細は 24 ページをご覧ください）		

オプション品

No.	品　名	商品番号	商品名	サイズ	販売単位
1	キャリアシート標準タイプ	108935	LA-4-36	1188 × 840mm	1 枚
2	キャリアシートワイドタイプ	108937	LW-4-46	1688 × 840mm	1 枚

- キャリアシート
  資料をホワイトシートに貼り付けてコピーする場合に使います。
- キャリアシート使用の場合、標準モードで使用してください。
  （こくモードの場合は、シート範囲内が黒くなることがあります。）
- キャリアシートは 1 面に 1 枚で最高 2 面迄お使いになれます。
- キャリアシート ワイドタイプの取り付けは、2 人で行なってください。
- 4 面式ワイドタイプ（LFW-54・LFW-53S）にはご使用いただけません。

上記消耗品 / オプション品のご注文及び価格は、お買い求めの販売店または末項のサービス窓口にお問い合せください。最低発注単位未満の場合は別途送料を申し受けます。

日学株式会社全国サービス窓口

○東京支店営業部	☎03-5440-2400（代）	FAX 03-5440-2415
○大阪支店	☎06-6329-0546（代）	FAX 06-6327-1417
○仙台支店	☎022-259-5557（代）	FAX 022-258-9601
○札幌出張所	☎011-748-3556（代）	FAX 011-748-3558
○埼玉営業所	☎048-525-2227（代）	FAX 048-524-2174
○静岡営業所	☎054-644-1335（代）	FAX 054-644-0547
○名古屋営業所	☎052-353-1722（代）	FAX 052-353-1804
○金沢営業所	☎076-240-8801（代）	FAX 076-240-8803
○福岡営業所	☎092-953-1415（代）	FAX 092-952-6357

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格等には準拠しておりません。
本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービス及び技術サポート等は行っておりません。

本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することは禁止されています。
本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
本書の内容に、不審な点、誤り、記載もれ等があると思われるときは、サービス窓口にご連絡ください。

5版　2008-12

日学株式会社

PL-252(098778)